

*fs-Winder*

スタートアップガイド



# ご使用にあたって

## 著作権について

- 本書とソフトウェア、及びそれらに記載されている内容は、著作権法によって保護されています。本書の内容の一部、または全部を株式会社マイクロアーツの書面による許可なく、複製、送信、情報検索のために保存すること、日本語以外の言語に翻訳することは禁止いたします。
- Microsoft、Windows、Ms Office は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の会社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 製品保証

- ユーザーが、本ソフトウェア、及びマニュアルを使用することによって生じた、または使用できないことによって生じた全ての損害について、株式会社マイクロアーツ、またはその代理人が有形または無形の責任を負うことは一切ありません。

## 一般的な注意事項

- 本マニュアル及びソフトウェアに記載されている事項は、改良等のために予告なく変更される事があります。



# 目次

<b>第1章. はじめに</b> .....	1
<i>fs-Winder</i> に含まれるツール .....	1
インストール直後の CAD 変換設定 .....	2
<b>第2章. インストール</b> .....	3
<i>fs-Winder</i> が対応する Windows のバージョン .....	3
<i>fs-Winder</i> のライセンス .....	3
<i>fs-Winder</i> のインストール .....	4
Office のインストールと設定 .....	5
操作メニュー .....	6
Web サーチを IIS に登録 .....	7
Web サーチの設定 .....	11
<i>fs-Winder</i> を実行するユーザ権限 .....	11
DWG 変換の設定 .....	12
<b>第3章. ウィザードで全文検索システムを構築する</b> .....	18
ウィザードを使用する前に .....	18
ウィザードによる設定 .....	19
<b>第4章. 変換(PDF、サムネイル、抽出テキスト)のみ行う</b> .....	22
PDF 変換クローラの準備 .....	22
変換を行う .....	25
<b>第5章. 既存の PDF から全文検索システムを構築する</b> .....	26
PDF 検索ビルダの準備 .....	26
スキャンの実行 .....	30

# 第1章. はじめに

この度は、MicroArts *fs-Winder* をご購入いただきまして誠にありがとうございました。このスタートアップガイドでは、*fs-Winder* のインストール方法と、インストール後に初めて操作する場面での設定方法を解説します。

## *fs-Winder* に含まれるツール

*fs-Winder* には下記のツールが含まれています。

<i>fs-Winder</i> PDF 変換クローラ	フォルダを巡回して PDF 変換を行うツールです。 <i>fs-Winder</i> のメインのツールです。
<i>fs-Winder</i> PDF 検索ビルダ	フォルダを巡回して PDF を全文検索インデックスに登録するためのツールです。
<i>fs-Winder</i> デスクトップサーチ	全文検索を行うための Windows アプリケーションです。 サーバとしては動作しませんが、すぐにご利用できます。
<i>fs-Winder</i> Web サーチ	全文検索を行うための Web アプリケーションです。ネットワーク内の PC から Web ブラウザで利用することができます。
<i>fs-Winder</i> 全文検索システム構築 ウィザード	上記4つのツールの設定をウィザード形式で行い、数ステップで全文検索システムを構築することができます。
<i>fs-Winder</i> 操作メニュー	上記5つのツールを起動するためのランチャーです。

本ガイドでは、各ツールの基本的な使い方を、下記の3つのケースに分けて解説します。シンプルな構成を前提に解説しますので、より高度な設定についてはユーザマニュアルをご覧ください。

1. ウィザードで全文検索システムを構築する。 → [第3章](#)
2. フォルダの一括 PDF 変換を行う。 → [第4章](#)
3. 既存の PDF から全文検索システムを作成する → [第5章](#)

なお、インストール時に使用するマニュアル類は PDF 形式ですので、事前に Adobe Reader をインストールしておいてください。

### ● 製品のラインナップとグレードについて

*fs-Winder* は機能レベルと変換対象ファイル形式により製品の種別が細かく分かれています。お客様が購入された製品種別によっては、本ガイドに記載されている画面と異なる場合があります。

### ● 評価版の制限事項

評価版はインストール後 60日間の試用が可能です。また、変換した PDF の背景にロゴが入ります。

評価版は評価用の目的でのみ使用することができます。

## インストール直後の CAD 変換設定

*fs-Winder* では、インストール直後は下記のような設定で CAD データが PDF 変換されます。これらの設定は自由に変更できますので、ユーザマニュアルを参考に実情に合わせて調整してください。

### ● DWG/DXF 形式

用紙設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○モデル空間では、まず DWG 内の用紙設定を探して、設定が見つければ用紙サイズや尺度情報を取得します。用紙設定情報が無い場合は、図形全体が A3 に自動フィットします。</li> <li>○ペーパー空間では、設定されている用紙のサイズで変換されます。</li> </ul>
レイアウト	○モデル空間と全ペーパー空間が1つの PDF に変換されます。
ペン設定	○DWG 内のペン設定に従って変換されます。 <i>fs-Winder</i> の CTB パス設定が適切に行われていれば、CTB ファイルからペン情報を取得します。ペン情報が無い場合は要素幅を適用します。
色	○線や文字などの図形は白黒となりますが、ラスタ画像はカラーとなります。
フォント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<i>fs-Winder</i> の SHX フォントパスが適切に設定されていれば、SHX フォントを使用します。無ければ TrueType フォントで代替します。</li> <li>○TrueType フォントの場合は PDF に埋め込まれます。</li> <li>○SHX フォントの背景には文字検索用に透明フォントが埋め込まれます。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部参照ファイルが見つからない場合は変換エラーとなります。</li> <li>○参照しているラスタファイルが見つからない場合は変換エラーとなります。</li> <li>○使用している SHAPE ファイルが見つからない場合は変換エラーとなります。</li> </ul>

### ● JWW/JWC 形式

用紙設定	○Jw_cad 上で表示される用紙枠の範囲が変換されます。図形が用紙枠からはみ出している場合は、はみ出した部分も変換されます。
ペン設定	○JWW の場合は JWW ファイル内の線設定情報に従って変換されます。JWC 形式の場合は、 <i>fs-Winder</i> 側で設定した線設定に従って変換されます。
色	○図形は白黒となりますが、ラスタ画像はカラーとなります。
フォント	○TrueType フォントは埋め込まれません。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参照しているラスタファイルが見つからない場合は変換エラーとなります。</li> <li>○参照している文字定義ファイルが見つからない場合は変換エラーとなります。</li> </ul>

### ● SXF 形式

用紙設定	○SXF ファイル内の用紙設定に従って変換されます。
ペン設定	○各要素ごとの色と幅が適用されます。
色	○図形は白黒となりますが、ラスタ画像はカラーとなります。
フォント	○TrueType フォントは埋め込まれません。
その他	○参照しているラスタファイルが見つからない場合は変換エラーとなります。

### ● 画像形式 (TIFF,BMP,JPEG,PNG,GIF)

用紙設定	○A3 サイズに自動調整して変換されます。
------	-----------------------

※お客様が購入された製品によっては、変換対象とならない形式があります。

## 第2章. インストール

### *fs-Winder* が対応する Windows のバージョン

---

*fs-Winder* は下記の Windows に対応しています。

Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1  
Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012

※サーバーOS 以外での Web サーチ利用時には、IIS の動作や接続数が制限されます。

#### ● Windows をサーバ利用する場合のライセンスについて

Web サーチを Windows Server 上で使用する場合には、Windows の CAL(クライアント アクセス ライセンス)が必要となります。本製品には CAL は付属しておりませんので、必要に応じて別途ご購入ください。

なお、CAL の詳細についてはシステム管理者に問い合わせるか、Microsoft の Web サイトでご確認ください。

Server 以外の Windows では CAL は必要ありませんが、同時接続数に制限があります。

### *fs-Winder* のライセンス

---

*fs-Winder* のライセンスでは、PDF 変換クローラと Web サーチをそれぞれ別の PC にインストールすることが可能です。そのような場合には、各 PC ごとに *fs-Winder* をインストールしますが、USB ドングルは PDF 変換クローラが動作する PC に取り付けてください。Web サーチは USB ドングル無しで動作します。

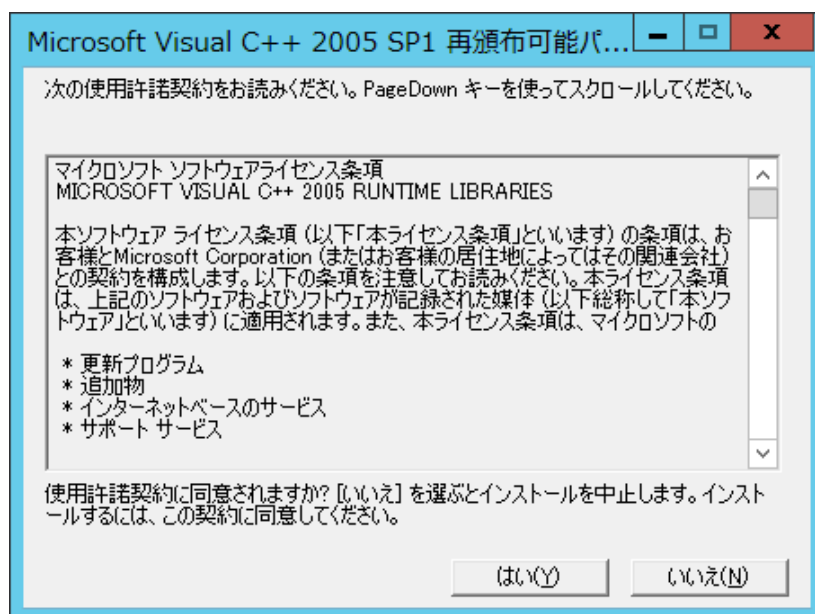


## fs-Winder のインストール

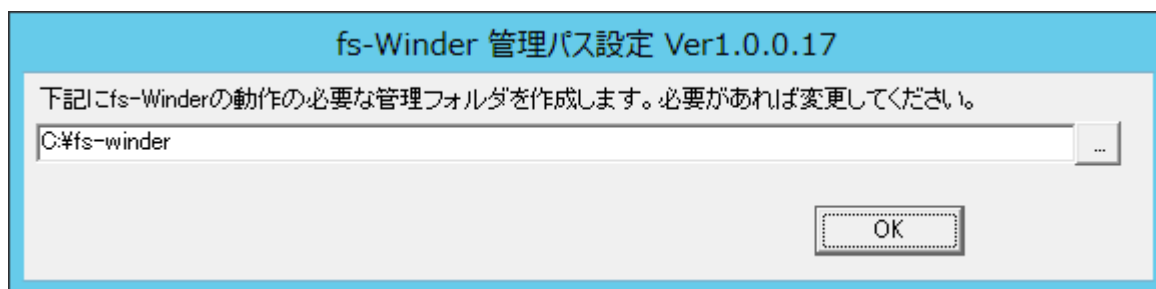
fs-Winder のインストールCDを挿入すると、セットアップメニューが表示されます。セットアップメニューが表示されない場合は、CD 又はダウンロードした Zip ファイル中の fs-Winder##Setup.exe を起動してください。(##にはバージョン情報が入ります。)

- Office 対応版の場合は Ms-Office のインストールが必要です。後述の説明に従って Ms-Office をインストールしてください。
- セットアップには管理者権限が必要です。OS のバージョンによっては途中で権限昇格画面が表示されます。

インストールの途中で下記のような Microsoft VisualC++2005SP1 再頒布可能パッケージのインストール画面が表示されますので、「はい(Y)」でインストールしてください。



続いて、管理フォルダパス設定の画面が表示されますので、特に問題がなければそのままの設定としてください。管理フォルダは、fs-Winder が設定値を保存したり、ログの出力などに使用します。



※管理フォルダ内にはスキャンの設定が保存されています。fs-Winder をアンインストールした場合でも管理フォルダはそのまま残ります。fs-Winder を評価版から製品版に変更した場合などでも設定はそのまま引き継ぐことができます。

※PDF 変換クローラと Web サーチを別 PC とする場合には、それぞれの PC でインストールを行ってください。

## Office のインストールと設定

fs-Winder の Office 対応版では、Microsoft Office のインストールと設定が必要です。

### ● Office 変換の制限事項

Office 変換では、Windows からログアウトした状態でのスケジュール起動による変換を行うことは出来ません。下記の手順でログインした状態で変換を行ってください。

- (1) ログインしたまま使用し、スクリーンセーバーでロックをかける。  
スクリーンセーバーの解除パスワードを有効にしておくこと、PC への不正アクセスを防ぐことができます。
- (2) 一旦ログインしてから、ユーザの切り替えでログイン画面に戻る。  
Windows の終了メニューからユーザの切り替えを選択することにより、ログインした状態のままログイン画面に戻ることができます。

### ● Office のインストールと設定

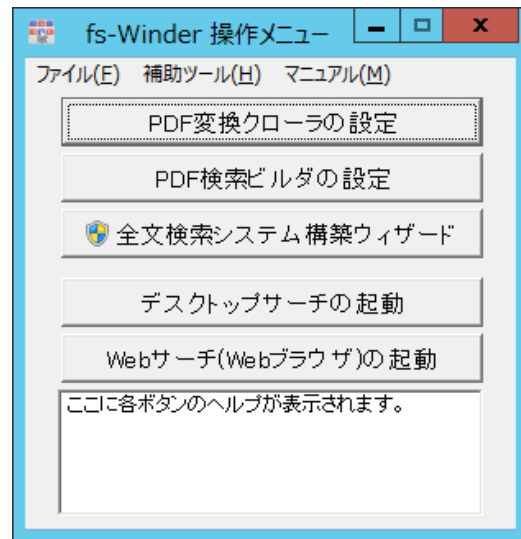
- (1) Office は標準インストールを行ってください。また、Office ツールと Office 共有機能をフルインストールしてください。
- (2) Office2007 の場には、PDF を出力するためのアドインソフト“2007 Microsoft Office プログラム用 Microsoft PDF/XPS 保存アドイン”をインストールしてください。
- (3) Office アプリケーションのマクロの設定を変更します。なお、ここからの設定は、管理者権限又は実際に変換クローラで変換を行うユーザの権限で行ってください。なお、ここでは Excel で説明しますが、Word と PowerPoint も同様に設定を行ってください。
- (4) ファイルメニューからオプションをクリックします。
- (5) 左メニューから「セキュリティセンター」をクリックします。
- (6) 「セキュリティセンター」画面の右下に「セキュリティセンターの設定」ボタンがありますので、クリックします。
- (7) 左メニューから「マクロの設定」をクリックします。
- (8) 「VBA プロジェクト オブジェクトモデルへのアクセスを信頼する」にチェックを入れます。以上で完了です。Word と PowerPoint も同様です。
- (9) Excel のみ、改ページプレビューダイアログの解除を行います。シートを新規作成した状態でメニューから「表示」を選択して「改ページプレビュー」をクリックします。ダイアログが表示されますので、「以後このダイアログを表示しない」にチェックを入れます。
- (10) Excel 変換では何らかのプリンタドライバの登録が必要です。A3 対応のプリンタドライバを登録して通常使用するプリンタに設定してください。

## 操作メニュー

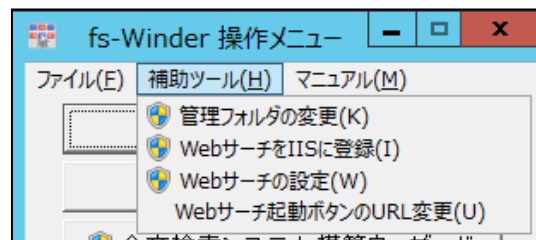
*fs-Winder* のインストールが完了すると、デスクトップ上に *fs-Winder* 操作メニューのアイコンが作成されます。アイコンを起動すると下記のような操作メニューが表示され、*fs-Winder* の各ツールをメニューから利用することが出来ます。



操作メニューのアイコン



メニューの補助ツールからは、管理フォルダの変更と Web サーチの設定等を行うことができます。



- Web サーチ(Web ブラウザ)の起動は、デフォルトの URL(<http://localhost/fs-winder/>)で起動します。また、デフォルトではサーバ名が localhost になっていますので、Web サーチをインストールした PC と同一の PC 上でしか Web サーチを起動できません。ネットワーク経由で接続する場合は、localhost の部分を Web サーチをインストールしたサーバ PC のコンピュータ名に置き換えてください。
- Web サーチの設定はネットワーク経由で行うことはできません。Web サーチをインストールした PC 上の Web サーチ設定ツールを起動して設定を行ってください。

## Web 検索を IIS に登録


- PDF 変換のみ行う場合は、Web 検索の設定は不要です。

Web 検索の動作にはインターネット インフォメーション サービス(IIS)と Net Framework3.5 のインストールが必要です。Web 検索を IIS に登録する前に、下記の手順に従ってインストールを行ってください。

- fs-Winder のインストール時に、既にインターネット インフォメーション サービス(IIS)と Net Framework3.5 がインストールされている場合は、Web 検索は IIS に登録済みとなっていますので、以降の作業は不要です。

### ● Windows Server 2012 での IIS のインストール

ローカル PC の管理者権限でログインして下記の手順でインストールを行ってください。

- (1)「サーバーマネージャー」を起動します。
- (2)「サーバーマネージャー」-「ダッシュボード」のメニュー「管理」をクリックして、「役割と機能の追加」をクリックします。
- (3)「役割と機能の追加ウィザード」が開始されます。左ペイン「開始する前に」は不要ですので、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。
- (4) 左ペイン「インストールの種類」は、「役割ベースまたは機能ベースのインストール」にチェックを入れて、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。
- (5) 左ペイン「サーバーの選択」は、該当するサーバー名を選択して「次へ(N)>」ボタンをクリックします。
- (6) 左ペイン「サーバーの役割」で役割一覧より、「Web サーバー(IIS)」をチェックします。  
  
「必要な機能を追加しますか」という確認ウィンドウが開きますので、「機能の追加」ボタンをクリックします。役割一覧に戻りますので、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。
- (7) 左ペイン「機能」で、「.NET Framework 3.5 Features」をチェックして「次へ(N)>」ボタンをクリックします。
- (8) 左ペイン「Web サーバーの役割 (IIS)」は説明文なので「次へ(N)>」ボタンをクリックします。
- (9) 左ペイン「役割サービス」で役割サービス一覧より、「アプリケーション開発」の  をクリックします。  
  
表示された一覧より、「ASP.NET 3.5」にチェックを入れます。  
「必要な機能を追加しますか」という確認ウィンドウが開きますので、「機能の追加」ボタンをクリックします。役割サービス一覧に戻りますので、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。
- (10) 左ペイン「確認」で「インストール」ボタンをクリックするとインストールが開始します。
- (11) あとは画面の指示に従ってインストールを行います。

## ● Windows Server 2008 での IIS のインストール

途中で管理者への昇格が必要となります。

- (1)「サーバーマネージャー」を起動します。
- (2)「サーバーマネージャー」のメニュー「役割」をクリックして、「役割の追加」をクリックします。
- (3)「役割の追加ウィザード」が開始されます。「開始する前に」は不要ですので、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。
- (4)「サーバーの役割の選択」が表示されたら、役割の一覧より、「Web サーバー(IIS)」をチェックします。

「必要な機能を追加しますか」という確認ウィンドウが開きますので、「必要な機能の追加」ボタンをクリックします。役割一覧に戻りますので、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。

- (5)「Web サーバー IIS」は説明文なので「次へ(N)>」ボタンをクリックします。
- (6)「役割サービスの選択」で役割サービス一覧より、「アプリケーション開発」をクリックします。

表示された一覧より、「ASP.NET」にチェックを入れます。

「必要な機能を追加しますか」という確認ウィンドウが開きますので、「機能の追加」ボタンをクリックします。役割サービス一覧に戻りますので、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。

- (7)「インストールオプションの確認」で「インストール」ボタンをクリックするとインストールが開始します。
- (8)あとは画面の指示に従ってインストールを行います。
- (9)次に.NET Framework3.5 をインストールします。「サーバーマネージャー」のメニューから「機能」を選択してください。

- (10)機能の追加ダイアログが開きますので、「.NET Framework3.5.1 の機能」にチェックを入れます。

「必要な機能を追加しますか」という確認ウィンドウが開きますので、「必要な機能の追加」ボタンをクリックします。役割一覧に戻りますので、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。

- (11) 機能の選択画面に戻りますので「次へ(N)>」をクリックします。、あとは画面の指示に従ってインストールを行います。

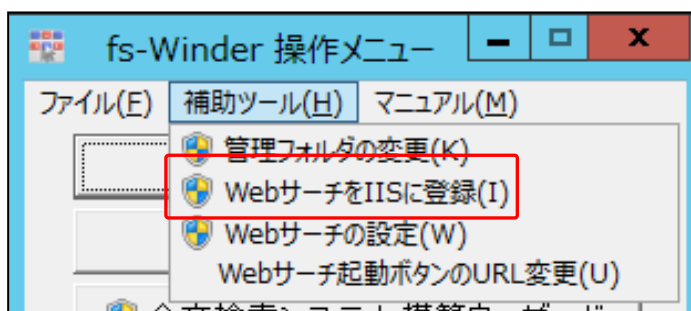
## ● Windows 7、Windows8 での IIS のインストール

途中で管理者への昇格が必要となります。

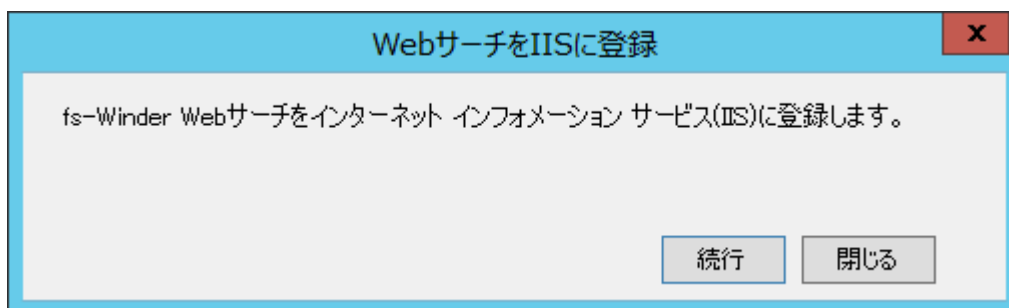
- (1) スタートメニューからコントロールパネルを起動します。
- (2) 表示方法を「カテゴリ」に変更してから「プログラム」「プログラムと機能」「Windows の機能の有効化又は無効化」を選択してクリックします。
- (3) 「Windows の機能」の画面が表示されますので、「Microsoft .NET Framework3.5」の項目にチェックを入れます。  
※バージョンによっては「Microsoft .NET Framework3.5.1」又は「.NET Framework3.5」となっています。
- (4) 「インターネット インフォメーション サービス」の項目のチェックを入れます。
- (5) +ボタンをクリックして「インターネット インフォメーション サービス」のツリーを開き、さらに「World Wide Web サービス」「アプリケーション開発機能」を開きます。
- (6) Windows7 の場合は「ASP.NET」のチェックを入れます。Windows8 では「ASP.NET3.5」にチェックを入れてください。他の項目は自動でチェックが入ります。
- (7) あとは画面の指示に従ってインストールを行います。

## ● Web サーチを IIS に登録

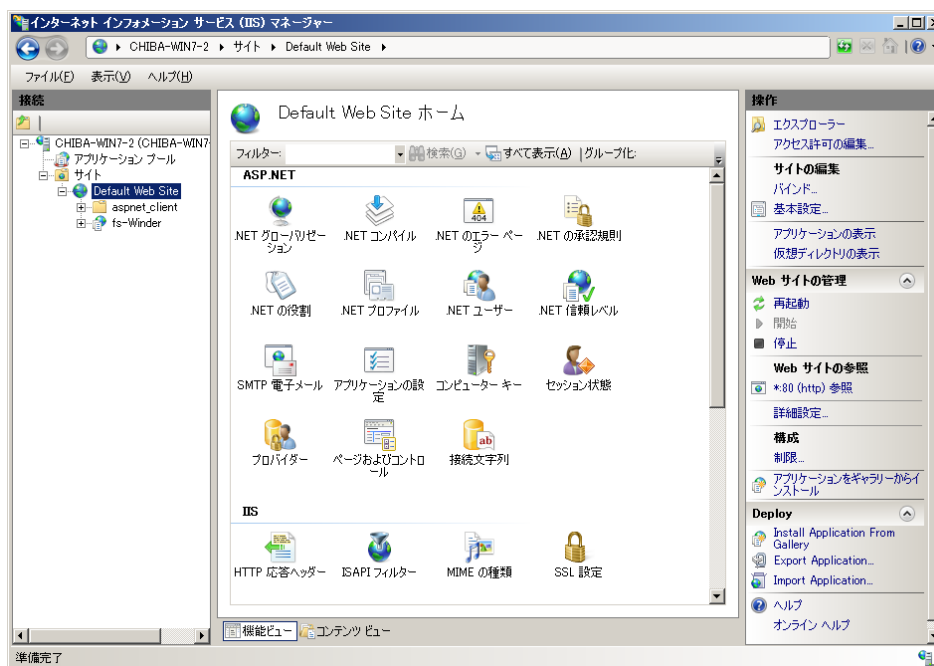
fs-Winder の操作メニューから、「補助メニュー」を選択し、「Web サーチを IIS に登録」をクリックしてください。※Windows のバージョンによっては管理者権限への昇格が必要となります。



登録画面が表示されますので、「続行」ボタンをクリックして登録を行ってください。



Web サーチが正常に登録されると、下図のように IIS マネージャー上に fs-Winder が登録されます。



- Web サーチは、IIS の「Default Web Site」に新しいアプリケーションとして登録されます。「Default Web Site」が存在しない場合や、他の Web サイトに登録したい場合には、Web サーチのアプリケーションを直接 IIS に登録してください。Web サーチアプリケーションはデフォルトでは下記にインストールされています。

32bitOS の場合 C:\Program files\Microarts\fs-winder\WebSearch

64bitOS の場合 C:\Program Files (x86)\Microarts\fs-winder\WebSearch

- Web サーチが使用するアプリケーションプールとして「fs-Winder-pool」が登録されます。

## ● Web サーチの URL について

Web サーチは IIS 上で動作する Web サーバーアプリケーションですので、Web ブラウザからは URL を指定して接続します。URL は下記となっています。

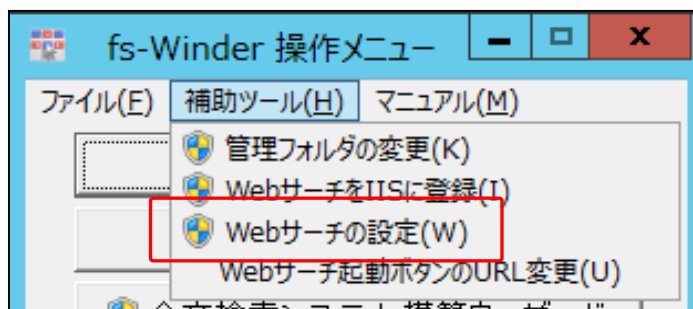
http://[サーバ名]/fs-winder/

## Web 検索の設定

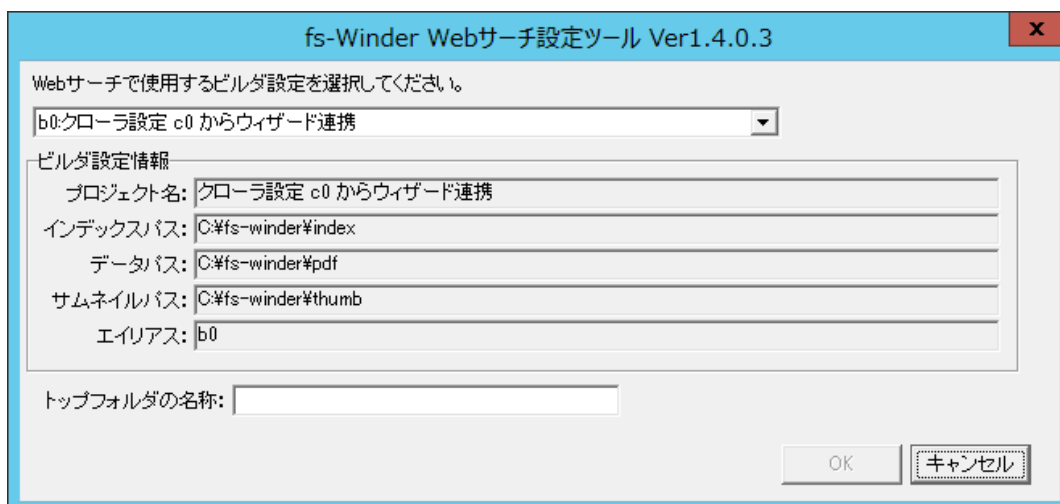
実際に Web 検索が動作するためには、PDF 検索ビルダで作成した検索インデックスや PDF、サムネイルフォルダの情報が必要です。ウィザードを使用した場合はこれらの情報は自動的に設定されます。

ウィザードではなく PDF 検索ビルダを用いてインデックスを作成した場合には、下記の手順で設定を行ってください。

- (1) *fs-Winder* の操作メニューから、「補助メニュー」を選択し、「Web 検索の登録」をクリックしてください。※Windows のバージョンによっては管理者権限への昇格が必要となります。



- (2) 設定ツールが起動しますので、使用するビルダ設定を選択してください。



## *fs-Winder* を実行するユーザ権限

*fs-Winder* の変換クローラ及び検索ビルダ、ウィザードを実行するユーザ権限は、管理者権限を推奨します。また、常に決まったユーザアカウントでの運用を推奨いたします。

Vista 以降の Windows では、管理者でログインしても実際には管理者権限は無く、必要に応じて権限が昇格します。そのため、たとえ管理者権限でログインしたとしても、他のユーザが作成した設定や PDF 等の編集や削除を行うことは出来ませんので、*fs-Winder* を操作するユーザアカウントを一つに限定して、複数のユーザアカウントでの使用は避けてください。



## DWG 変換の設定

DWG/DXF 形式を PDF に変換する際には必要に応じて下記の設定を行ってください。

### ● DWG の SHX フォント設定(※必須ではありませんので、必要に応じて設定してください。)

DWG/DXF 形式では、ベクターフォント(SHX フォント)を用いている場合があります。文字を正確に変換する場合は SHX フォントファイルが必要です。SHX フォントファイルは本製品には付属していませんが、AutoDesk の Web サイトからフリーのビューワ(DWG TrueView 等)をダウンロードしてインストールすることにより利用することができます。また、AutoCAD にも付属しています。

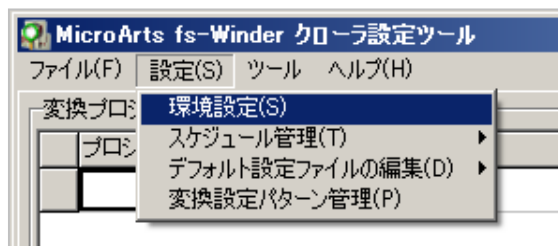
SHX フォントは AutoCAD 又は DWG TrueView をインストールしたフォルダに入っています。例えば、AutoCAD2008 では下記のフォルダに入っています。

C:\Program Files\AutoCAD 2008\Fonts

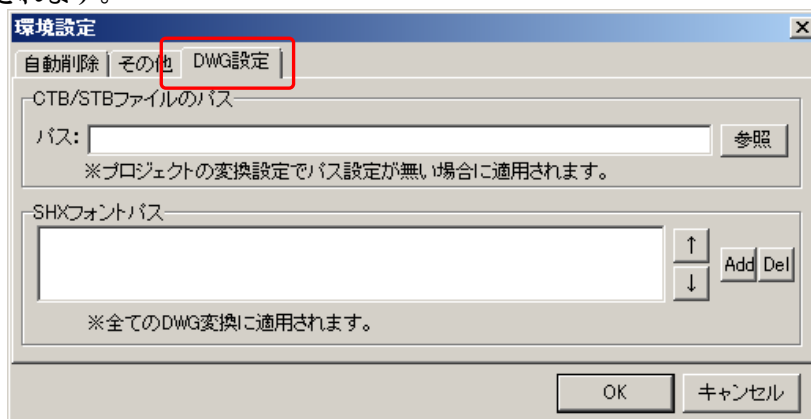
DWG TrueView も同様に Program Files フォルダを探してください。Fonts フォルダ内には、拡張子が .shx のファイルが含まれて居ます。

このフォントフォルダを下記の手順で *fs-Winder* に登録してください。

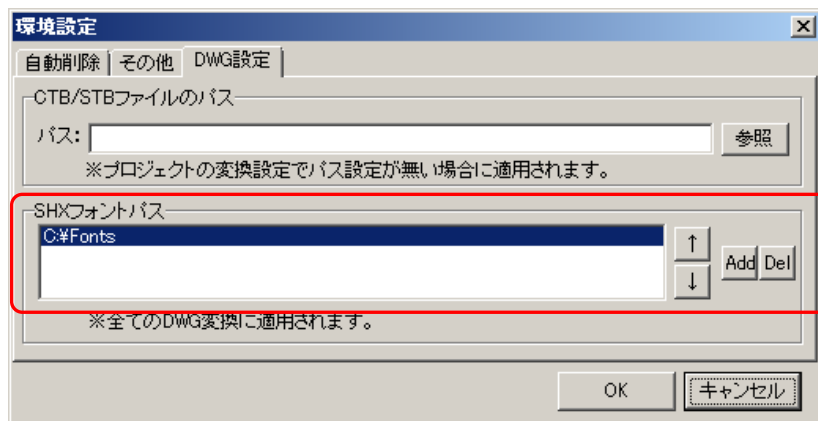
(1)変換クローラ設定ツールを起動してメニューから下記のように“環境設定”を選択してください。



(2)環境設定画面が表示されたら、下記のように“DWG 設定”タブをクリックしてください。DWG 設定画面が表示されます。



- (3)[Add]ボタンで SHX フォントが含まれているフォルダを追加してください。入力が完了したら[OK]ボタンをクリックしてください。



- 本設定は必須ではありませんが、SHX フォントが無い場合は TrueType に置換されますので、文字化けが発生する可能性があります。
- 本設定は、全てのプロジェクトに適用されます。なお、SHX フォントパスは各プロジェクトごとにも設定可能ですが、両方で設定している場合は両方の設定が有効となります。

#### 注意！

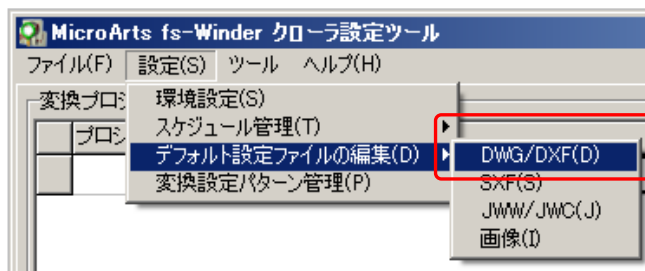
SHX フォントを使用しない場合や SHX フォントが無い場合でも代替フォントを用いて変換しますが、文字化けや文字位置がずれる場合がありますので、なるべく SHX フォントを使用する設定での変換を推奨します。また、SHX フォントを使用する設定で変換した場合には、変換後のログファイル中(生ログ)に不足している SHX フォントが表示されますので、不足している SHX フォントを入手してください。

### ● SHX フォントからキーワードを作成する方法

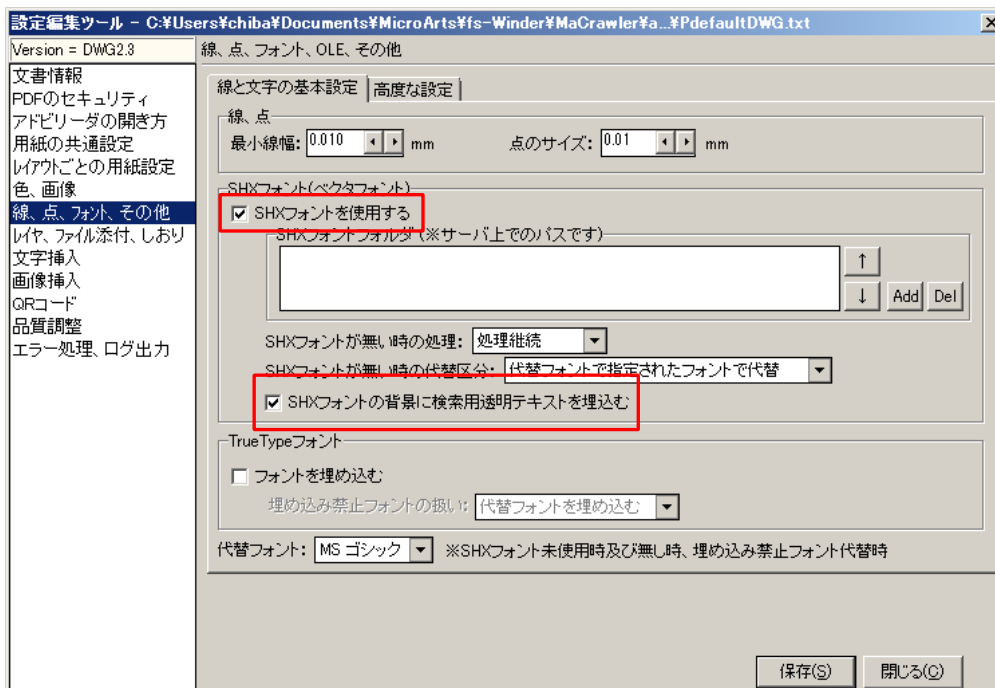
DWG の SHX フォントは PDF 化すると線に変換されますので、検索用のキーワードとしては認識されません。しかし、*fs-Winder* では下記の手順で設定を行うことにより、PDF 上でキーワードとして認識されるようになります。

※インストール直後はこの設定がデフォルトになっていますので、設定は不要です。

- (1)メニューのデフォルト設定ファイルの編集から、“DWG/DXF”をクリックしてください。



- (2)変換設定編集画面が表示されますので、メニューから“線、色、フォント、その他”を選択して、SHX フォントの欄の「SHX フォントを使用する」及び「SHX フォントの背景に透明テキストを埋め込む」にチェックを入れてください。

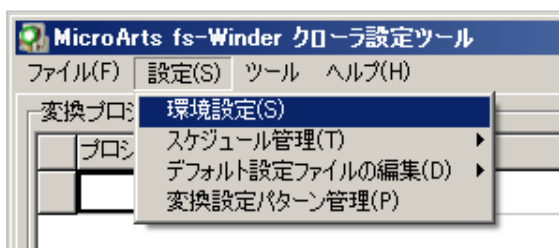


- なお、作成済のプロジェクトには適用されませんので各プロジェクトごとに修正してください。デフォルト設定は、次にプロジェクトを作成した時から有効になります。

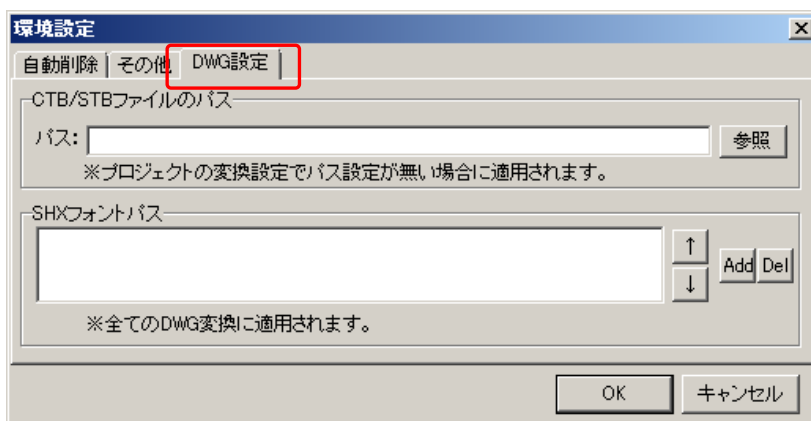
## ● CTB ファイルを適用させる方法

DWG では、線の太さや色の設定に CTB ファイルを使用する場合があります。*fs-Winder* では、CTB ファイルが保存されているパスを登録することにより、変換時に CTB を適用することができます。。

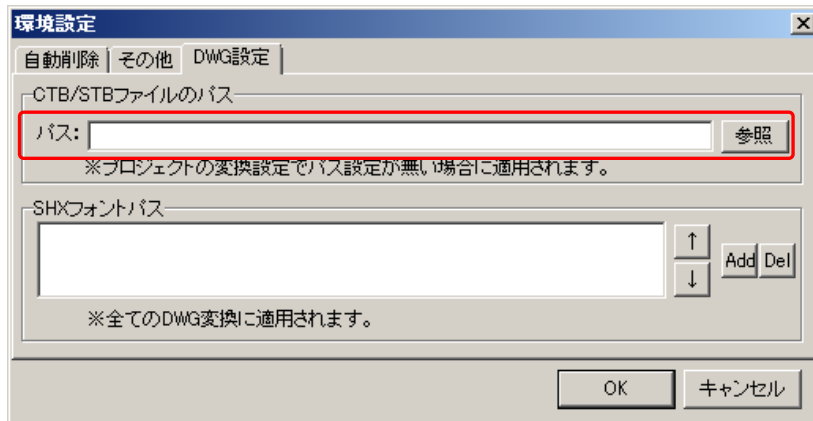
- (1)変換クローラ設定ツールを起動してメニューから下記のように“環境設定”を選択してください。



- (2)環境設定画面が表示されたら、下記のように“DWG 設定”タブをクリックしてください。DWG 設定画面が表示されます。



- (3)“CTB/STB ファイルのパス”欄に CTB ファイルが保存されているフォルダのパスを入力してください。入力が完了したら[OK]ボタンをクリックしてください。



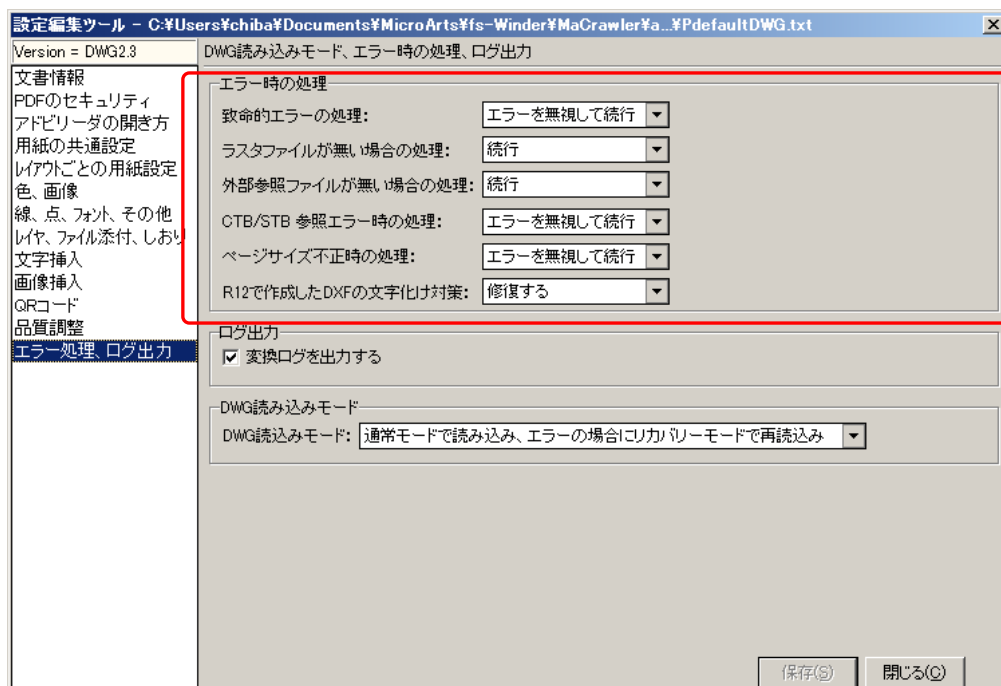
- 本設定は全てのプロジェクトに適用されますが、もし各プロジェクトごとの変換設定で CTB パスが設定されている場合は、本設定よりも各プロジェクトごとの設定が優先されます。
- DWG に CTB を自動的に適用させるには、DWG にページ設定情報を埋め込む必要があります。ユーザーマニュアル第 10 章 PDF 変換のポイントの DWG にページ設定情報を埋め込む方法をご参照ください。

## ● エラー設定

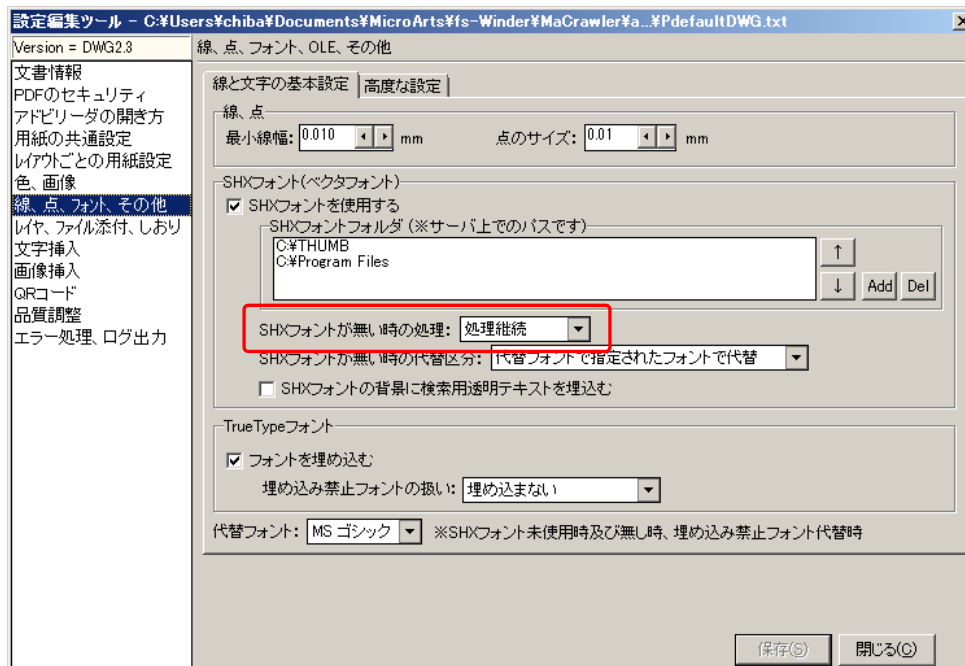
DWG の PDF 変換では、下記の場合にエラーで変換を中止するか、しないかを設定することができます。厳密な変換が必要な場合にはエラーで中止する設定を推奨します。

- ラスタファイルが無い場合
- 外部参照ファイルが無い場合
- CTB/STB ファイルが無い場合
- SHX フォントファイルが無い場合
- シェイプファイルが無い場合

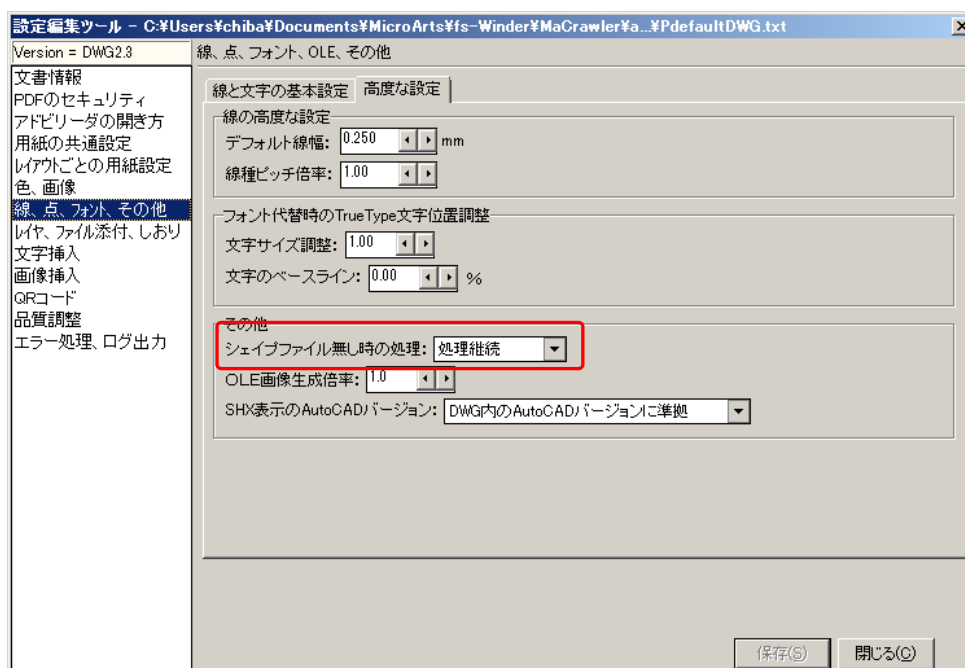
設定は、プロジェクト設定の変換設定で行ってください。



## エラー時の設定



### SHX フォントが無い場合の設定



### シェイプファイルが無い場合の設定

- 本設定は、設定を行ったプロジェクトにのみ適用され、他のプロジェクトには適用されません。他のプロジェクトにも適用させるためには、デフォルト設定ファイルを編集してください。
- エラーで中止した場合でも、エラーとなった DWG の PDF 変換を中止しただけで、スキャンは続行します。

#### 注意！

*fs-Winder* では、インストール直後は下記の状態となっています。

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ● ラスタファイルが無い場合      | → エラーで中止               |
| ● 外部参照ファイルが無い場合     | → エラーで中止               |
| ● CTB/STB ファイルが無い場合 | → 警告で変換続行、図形の要素幅と色を使用  |
| ● SHX フォントファイルが無い場合 | → 警告で変換続行、TrueType に置換 |
| ● シェイプファイルが無い場合     | → エラーで中止               |

## ● 用紙設定

PDF 変換時には、DWG のどの範囲を PDF 化するかを決定する必要があります。決定方法は大きく分けるとオートスケールとページ設定情報に従う方法に分けられます。

※インストール直後は、オートスケール設定がデフォルトとなっています。

### ○オートスケール

レイアウトに書かれた図面全体を PDF 化します。

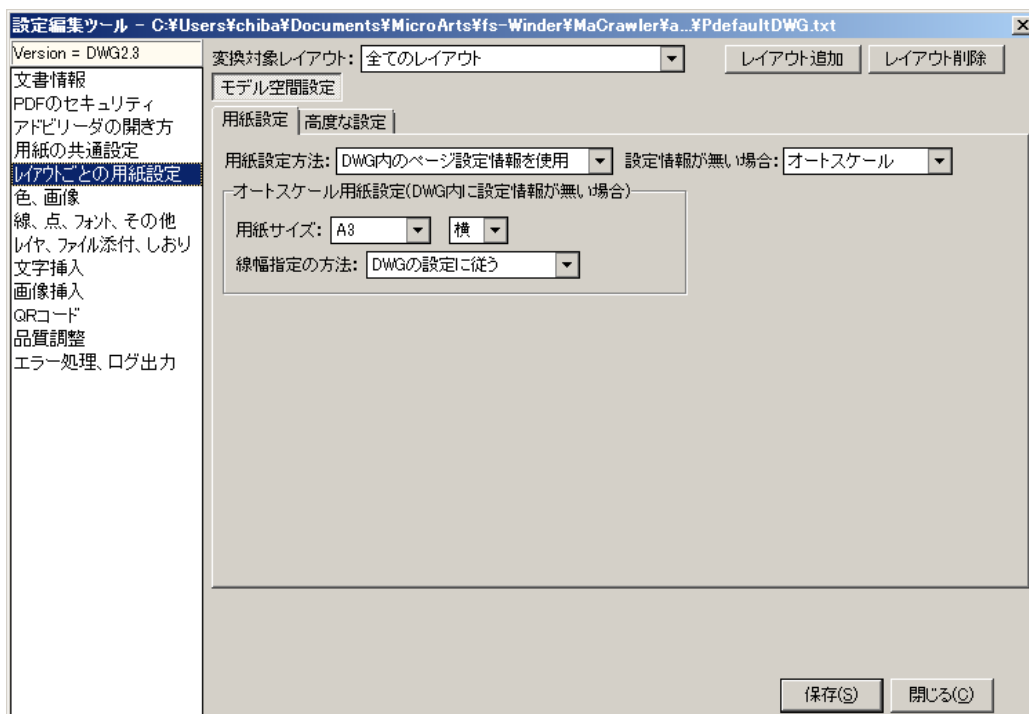
- ☛ 尺度は正確ではありません。
- ☛ レイアウト内に複数の図面が書かれている場合は、全ての図面が 1 ページの PDF に変換されます。
- ☛ CAD 上で閲覧するのと同様のイメージとなります。

### ○ページ設定情報に従う

DWG に保存されているページ設定情報に従って変換しますが、ページ設定情報が必ず保存されているとは限りません。

- ☛ 用紙サイズや尺度、ペン設定情報を取得して PDF 変換することが出来ます。
- ☛ ペーパー空間には必ずページ設定情報が入っています。
- ☛ ページ設定情報が必ずしも正確とは限りません。良くも悪くもページ情報に従って変換されます。

*fs-Winder* ではさまざまな用紙設定方法が可能ですが、通常は下記設定を推奨します。この設定では、最初にページ設定情報を読み出し、ページ設定情報がなければオートスケールで A3 サイズに変換します。なお、インストール直後はこの設定で変換されます。



この設定はモデル空間に適用されますが、ペーパー空間はデフォルトでページ設定情報を読み出しますので、通常は設定不要です。なお、用紙設定の詳細は第 10 章の[DWG\(及び DXF\)の変換設定](#)をご覧ください。

## 第3章. ウィザードで全文検索システムを構築する

*fs-Winder* には、数ステップで全文検索システムを構築するウィザードが付属しています。この章では、ウィザードを使用した全文検索システム構築の設定方法について解説します。

※PDF 変換のみ行う場合は、“[第4章. 変換\(PDF、サムネイル、抽出テキスト\)のみ行う](#)”をご覧ください。

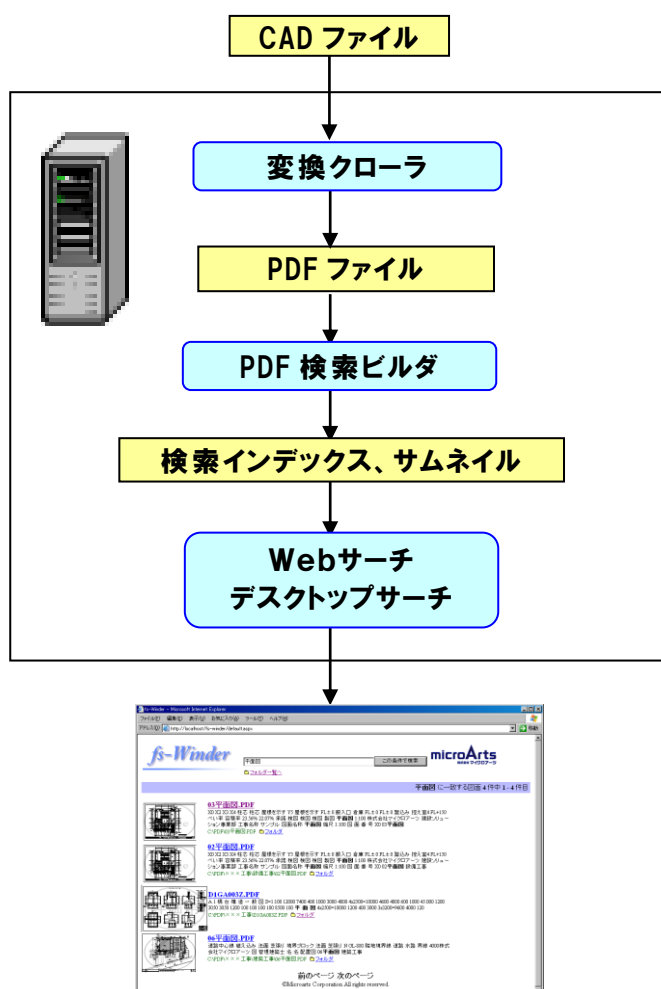
### ウィザードを使用する前に

ウィザードを使用する前に、下記を確認してください。

- ① 全文検索を行うためには、デスクトップサーチ又は Web サーチのどちらかが必要です。デスクトップサーチはウィザードと一緒に標準でインストールされています。Web 検索を行う場合は Web サーチをインストールしてください。
- ② Office 対応版の場合は、MS-Office のインストールが完了しているかを確認してください。

### ● ウィザードが対応しているネットワーク構成

ウィザードでは、設定を簡単にするために、動作環境に制限を設けています。ウィザードは下図のように PDF 変換とインデックス作成、Web サーバを一台の PC 上に構築します。CAD ファイルは別な PC 上でも支障ありませんので、既存のファイルサーバはそのまま運用して、*fs-Winder* を追加サーバとして構築するような運用を想定しています。なお、ウィザードを構築する PC にはそれなりの負荷が掛かりますので、マルチコア CPU の PC を使用することを推奨いたします。



Web ブラウザ

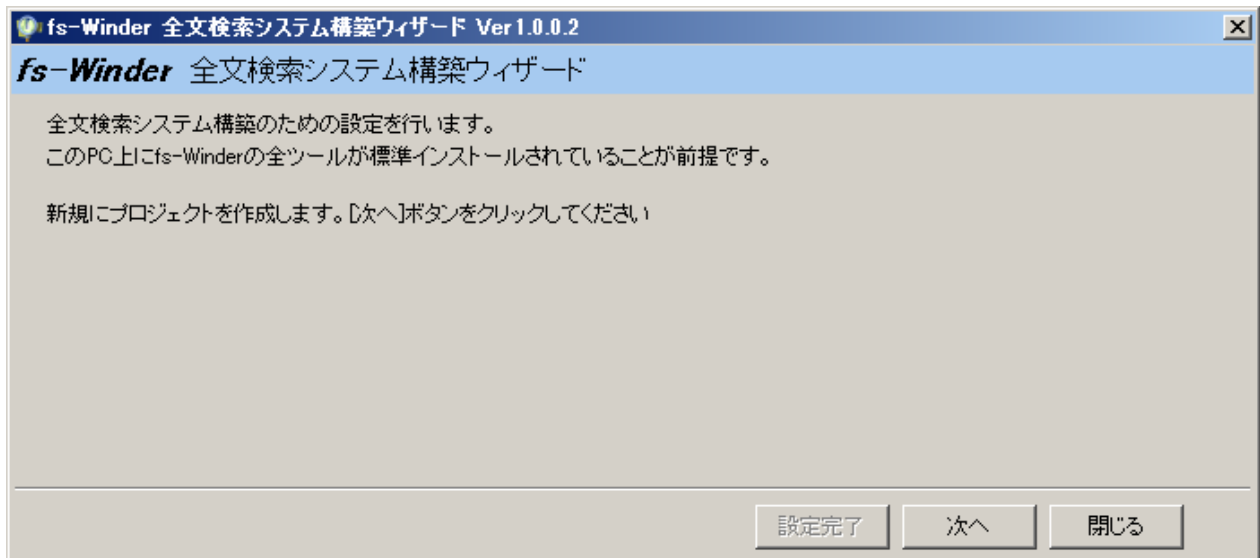
## ウィザードによる設定

ウィザードの操作方法を解説します。

### ① ウィザードの起動

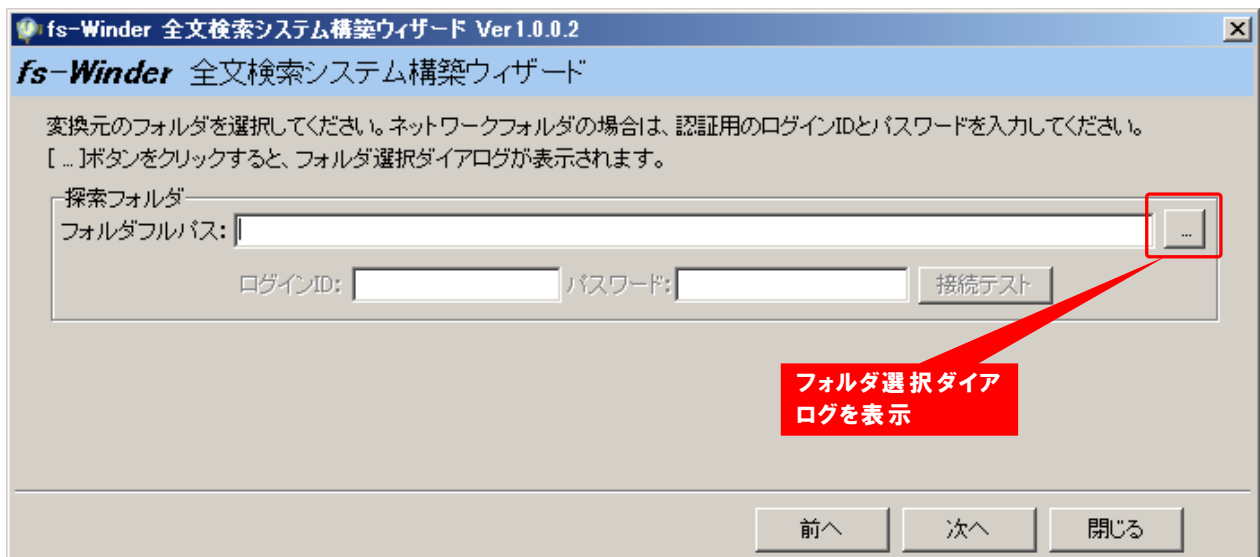
操作メニューから[全文検索システム構築ウィザード]ボタンをクリックしてウィザードを起動してください。なお、ウィザードの途中で管理者権限への昇格が必要となります。

ウィザードが起動すると、下記の画面が表示されます。そのまま[次へ]ボタンをクリックしてください。



### ② 探索フォルダの入力

変換元のファイル(CAD ファイル、Office ファイル)が保存されているフォルダのパスを入力してください。ここで設定したフォルダ内の PDF 変換可能なファイルが全て PDF 変換され、全文検索システムに登録されます。また、サムネイルも同時に作成します。

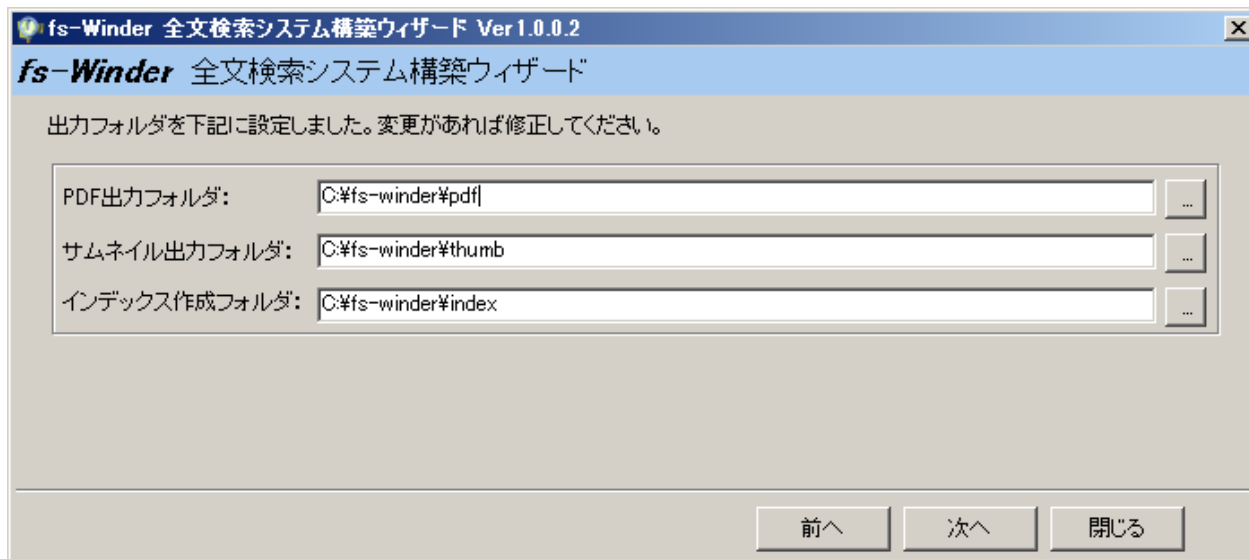


探索フォルダがネットワーク上の共有フォルダの場合は、認証のためのログイン ID とパスワードを入力してください。



③ 出力フォルダ、インデックス作成フォルダの入力

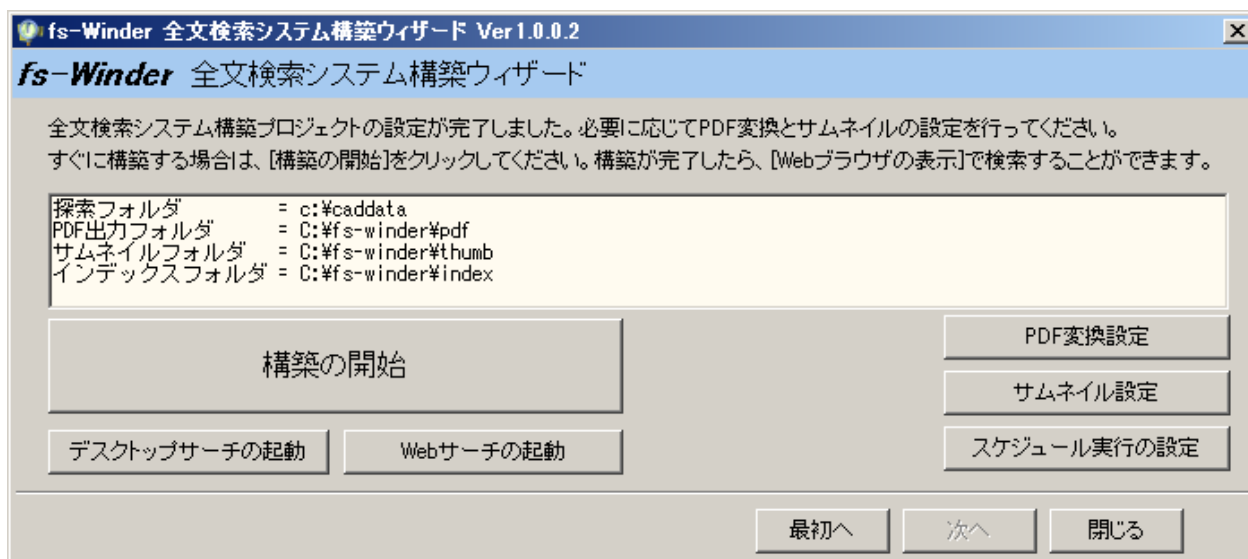
PDF とサムネイルを出力するフォルダ及びインデックスを構築するフォルダを設定します。ウィザードは、下図のように *fs-Winder* の管理フォルダに各フォルダを自動設定しますので、変更の必要があれば適宜に修正してください。なお、ウィザードではこれらのフォルダをネットワーク上に配置することは出来ませんので、必ずローカルフォルダを指定してください。



[次へ]ボタンをクリックすると、設定保存のために管理者権限昇格画面が表示されます。

④ ウィザードの完了と全文検索システムの構築

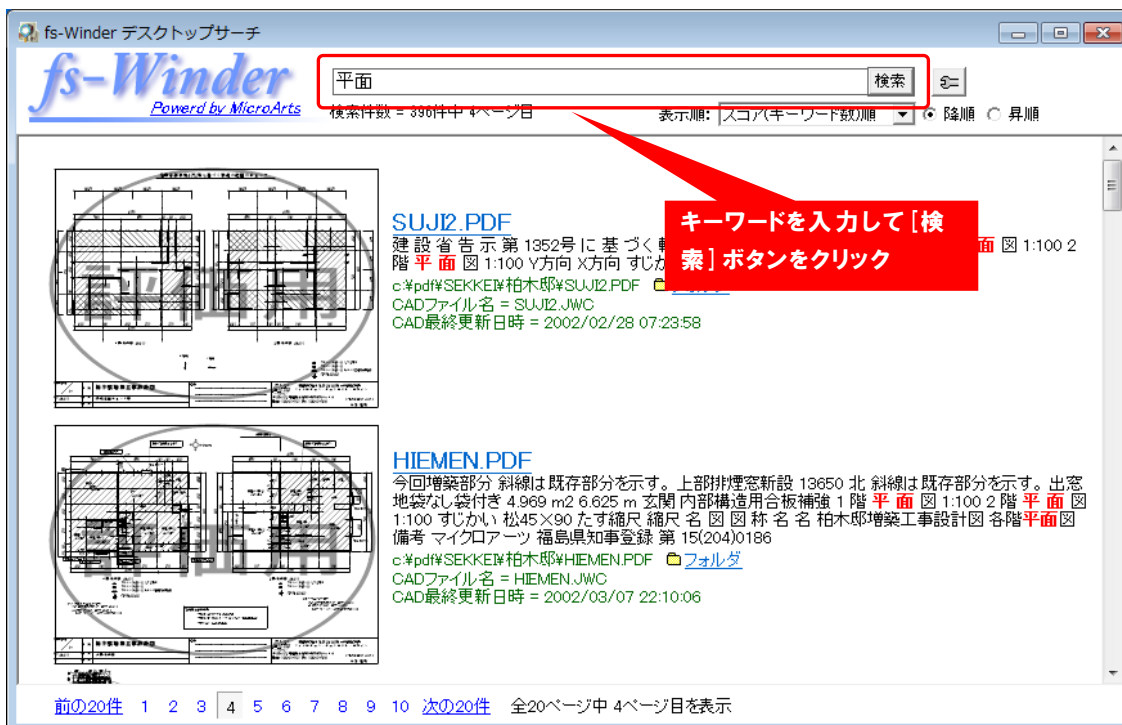
以上で必要な設定は完了です。[構築の開始]をクリックすると、PDF 変換クローラと PDF 検索ビルダによる連続スキャンが行われます。



- PDF の変換設定とサムネイルの設定は必要に応じて変更してください。
- ウィザードで作成したプロジェクトは、PDF 変換クローラ設定ツール及び PDF 検索ビルダ設定ツールで詳細な設定を行うことができます。

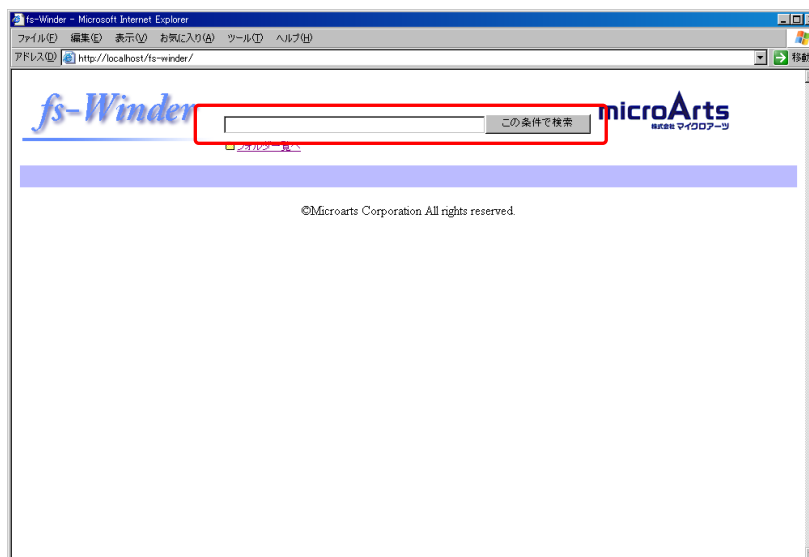
## ⑤ 全文検索の実行

スキャンが完了したら、操作メニューの[デスクトップサーチの起動]で検索画面が表示されます。デスクトップサーチはネットワーク越しの検索は出来ませんが、設定が不要ですのですぐに利用することが出来ます。



デスクトップサーチの画面

Webサーチをインストールしている場合は、操作メニューの[Webサーチの起動]でWebサーチがWebブラウザ内で開きます。



Webサーチの表示のURLは、デフォルトでは<http://localhost/fs-winder/>です。Webサーチのインストール時にURLを変更している場合には、[Webブラウザの表示]ボタンを右クリックして、URL変更を行うことができます。

Webサーチの初回の起動は時間が掛かりますが、2回目以降はスムーズに表示されます。

## 第4章. 変換 (PDF、サムネイル、抽出テキスト) のみ行う

フォルダに保存されている CAD データや Office データを PDF 及びサムネイル、抽出テキストに変換するだけの場合は、*fs-Winder* PDF 変換クローラを使用します。この章では、PDF 変換クローラで変換を行うための設定について簡単に解説します。なお、Lite 版では、サムネイルと抽出テキストに関する部分は表示されません。

### PDF 変換クローラの準備

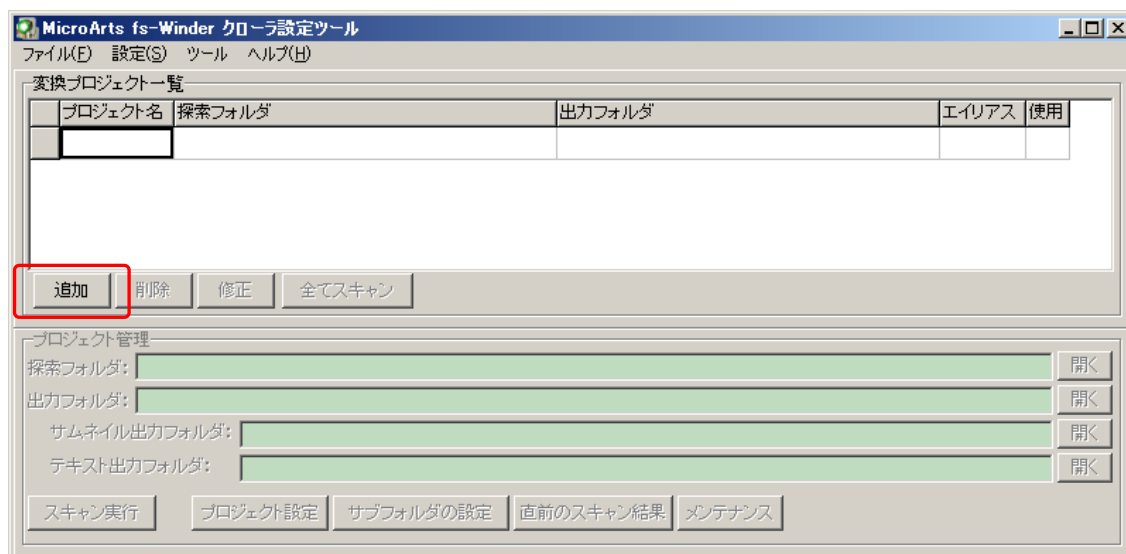
*fs-Winder* 操作メニューから[PDF 変換クローラ設定ツール]ボタンをクリックして、PDF 変換クローラ設定ツール(以降、クローラ設定ツール)を起動してください。

クローラ設定ツールは下記のような画面です。

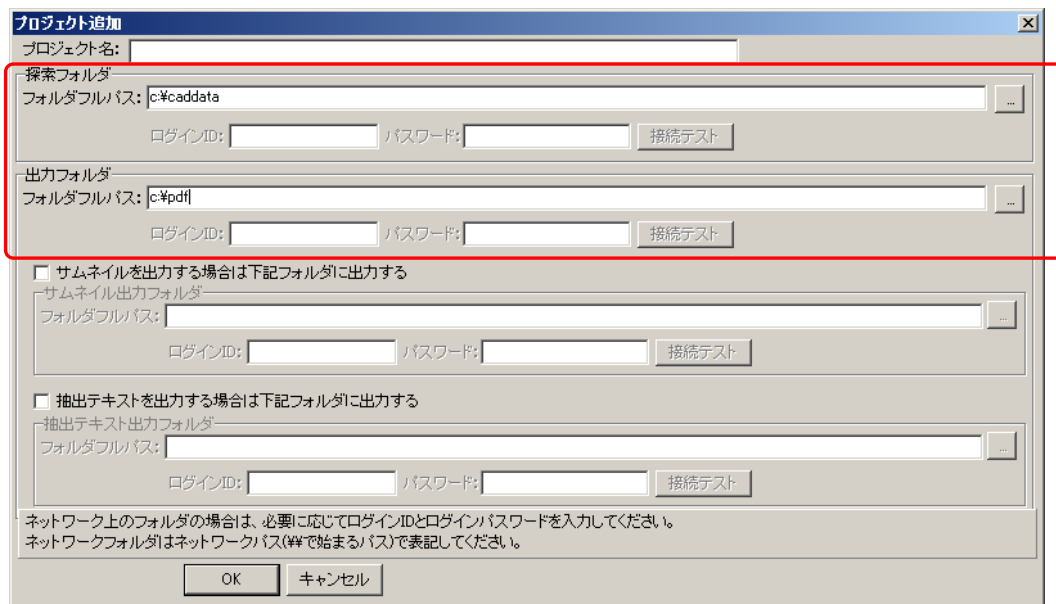


PDF 変換クローラは、指定したフォルダを巡回してフォルダ階層をまるごと PDF 変換するツールです。変換のための準備として、まず巡回するフォルダや出力フォルダの設定を行います。

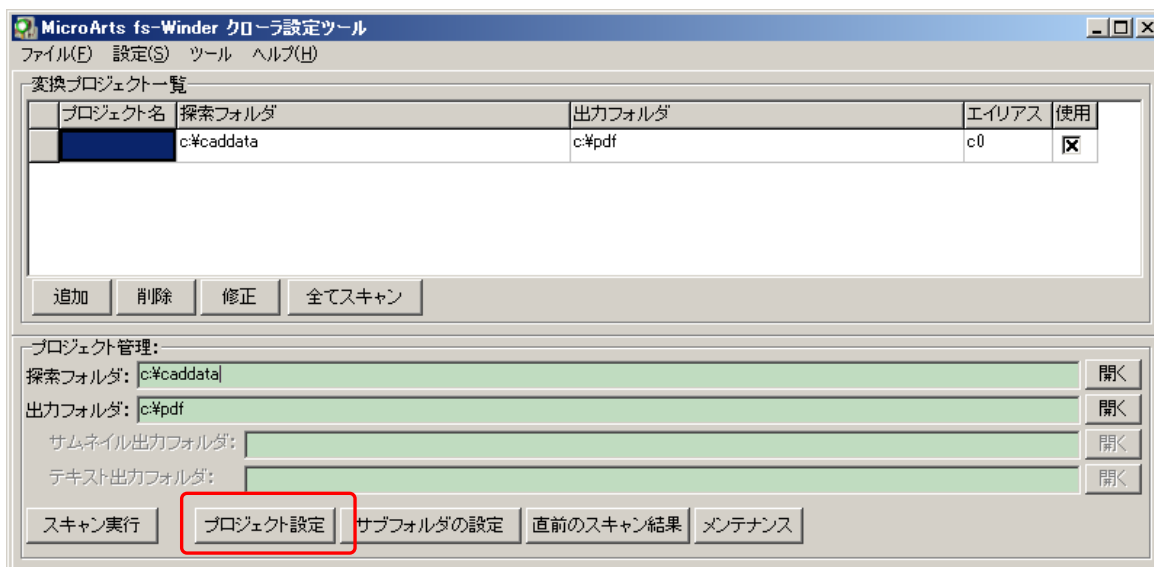
①クローラ設定ツールの[追加]ボタンをクリックしてください。



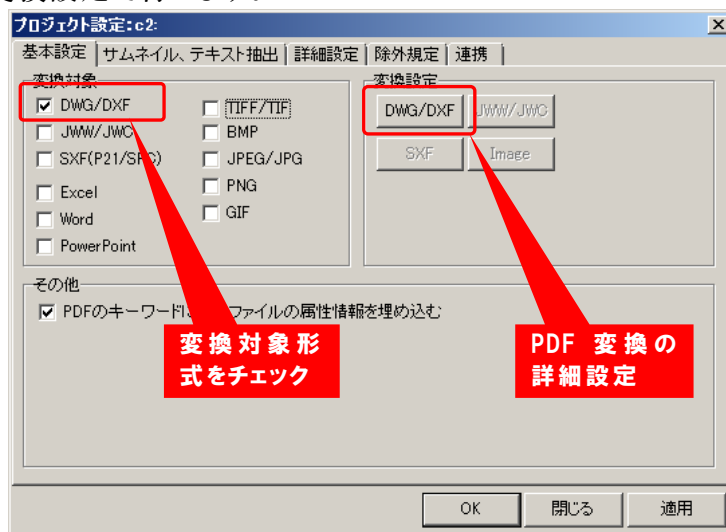
- ②プロジェクト追加画面が表示されますので、変換元の探索フォルダと PDF 出力先のフォルダを指定してください。入力が完了したら[OK]ボタンをクリックしてください。



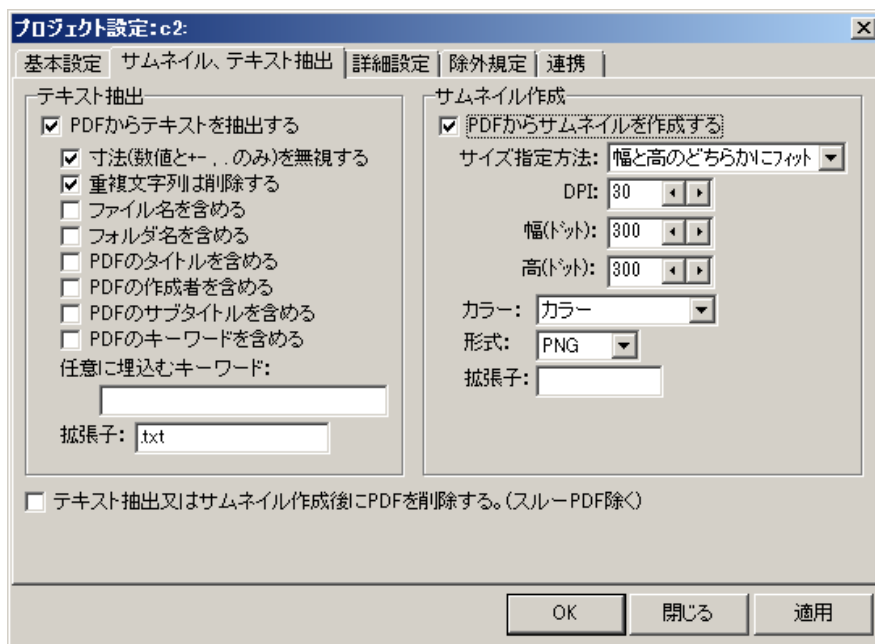
- ③下図のようにフォルダが登録されます。次に[プロジェクト設定]ボタンをクリックしてください。



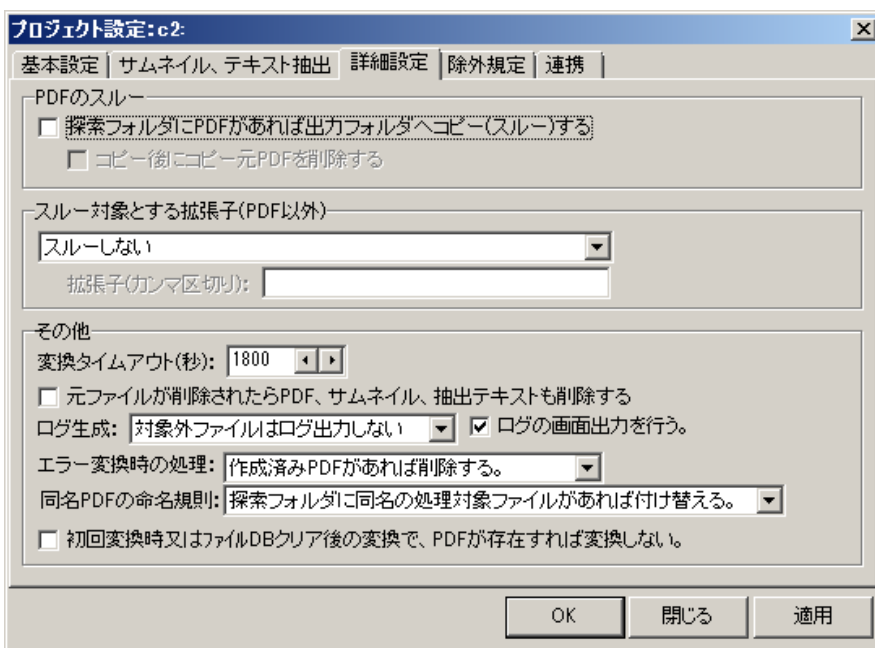
- ④プロジェクト設定画面が表示されますので、変換対象の形式をチェックしてください。画面右側の変換設定のボタンをクリックすると、PDF 変換の詳細な設定を行うことができます。また、PDF 化する用紙範囲なども変換設定で行います。



⑤次にサムネイルとテキスト抽出の設定を行います。サムネイル、テキスト抽出タブをクリックすると下記の画面が表示されますので、必要に応じて設定してください。(Pro 版、Std 版のみ)



⑥次に詳細設定を行います。プロジェクト設定画面の詳細設定タブをクリックすると、下記の画面が表示されます。PDF 変換やサムネイル生成が主目的の場合は下記設定としてください。[OK ボタン]をクリックしてプロジェクト設定画面を閉じてください。



以上で、PDF 変換クローラの設定は終了です。

## 変換を行う

PDF 変換クローラの設定が完了したら、次は変換を行います。

### 注意！

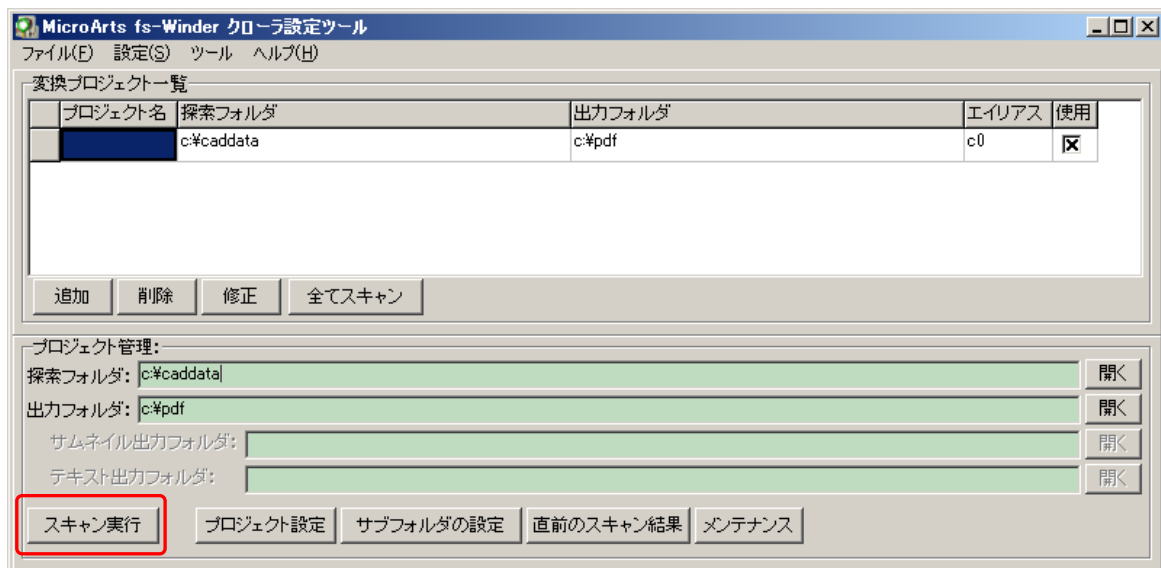
**！CAD 変換では、元データとの不一致を避けるために、デフォルトでは下記の場合には変換されません。**

- DWG 形式で、外部照ファイル(外部参照、ラスタ参照)が無い場合
- JW,SXF 形式で、参照しているラスタファイルや文字定義ファイルが無い場合

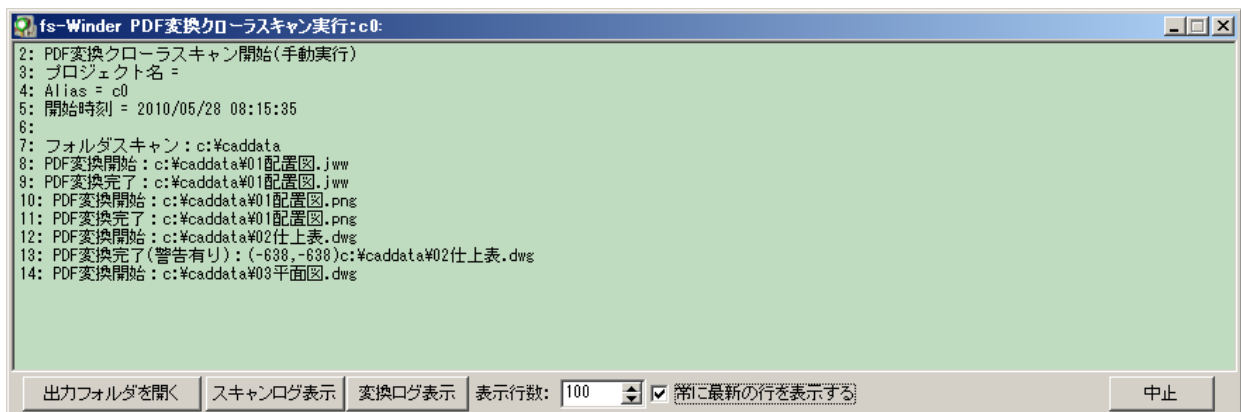
この制限を緩和して警告扱いで変換することも可能ですので、ユーザマニュアルのトラブルシューティングの章をご覧ください。

### ● 変換の開始

クローラ設定ツールの[スキャン実行]ボタンをクリックするとスキャンが始まり、フォルダ内の変換対象形式ファイルが PDF 変換されて出力フォルダに出力されます。



変換中は下図のような進捗状況が表示されます。画面には表示行数で設定された行数の情報しか表示されませんので、行数を超えた部分は順次削除されます。変換開始からの全てのスキャンログを見る場合は[スキャンログ表示]ボタンをクリックすると全てのログがテキストエディタで表示されます。



## 第5章. 既存の PDF から全文検索システムを構築する

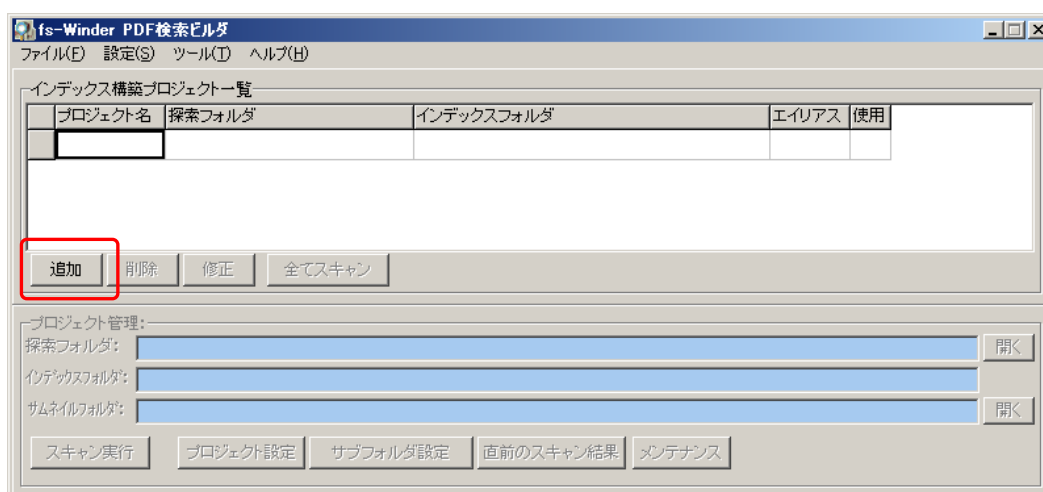
fs-Winder は変換クローラが作成した PDF だけでなく、既存の PDF からサムネイル付きの全文検索システムを構築することができます。この章では、全文検索システム構築に必要な設定について解説します。なお事前に fs-Winder の全てのツールをインストールしておいてください。

### PDF 検索ビルダの準備

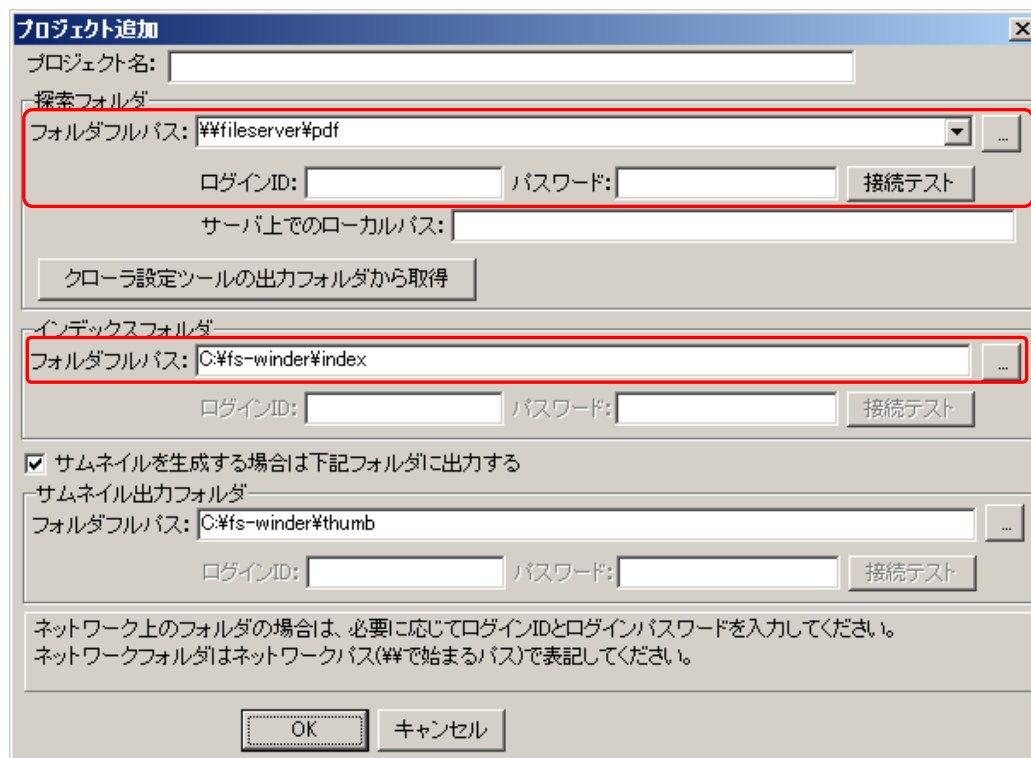
既存の PDF から全文検索システムを構築する場合は PDF 検索ビルダを使用します。

#### ● PDF 検索ビルダの設定

- ①操作メニューから PDF 検索ビルダ設定ツールを起動してください。検索ビルダ設定ツールが起動したら、[追加]ボタンをクリックしてください。



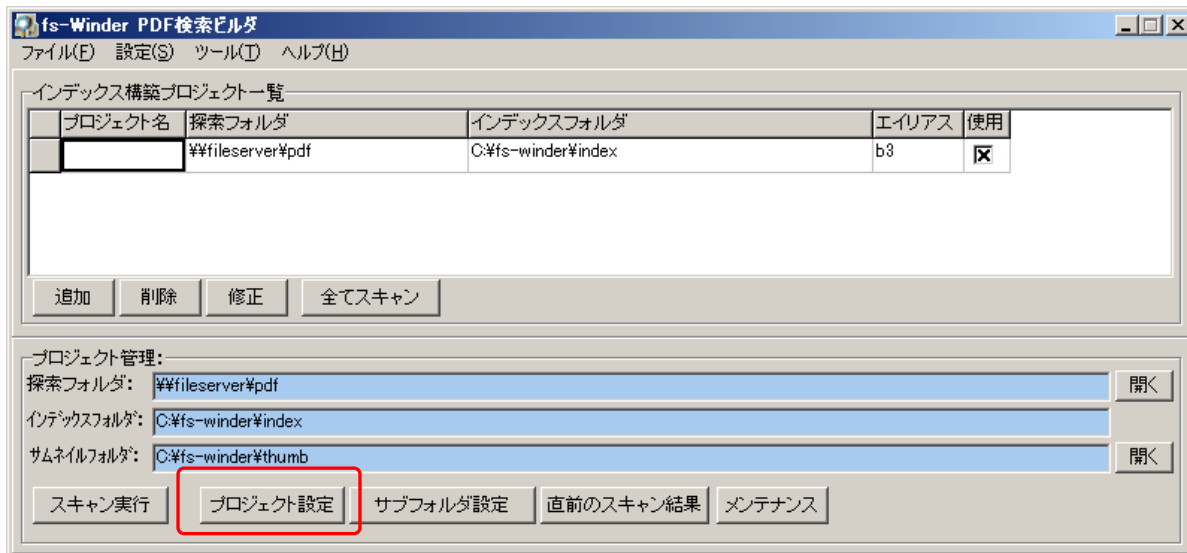
- ②探索フォルダとインデックスフォルダを入力します。探索フォルダは、既存の PDF が保管されているフォルダのパスを指定します。必要に応じて認証のためのログイン ID とパスワードを入力してください。



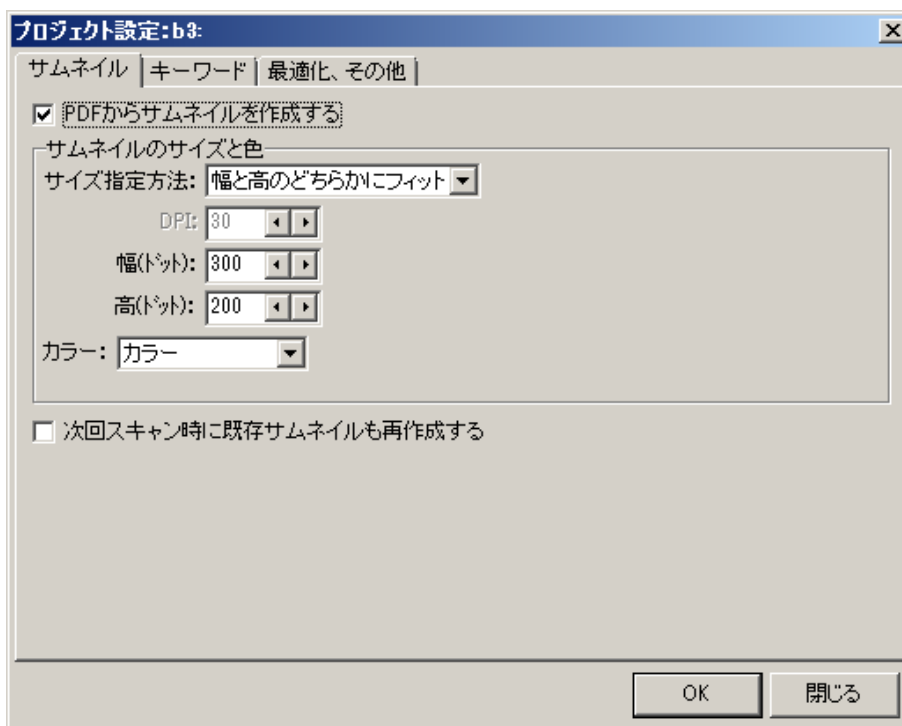
インデックスフォルダとサムネイルフォルダは、デフォルトでは管理フォルダ内に設定されますので、必要に応じて変更してください。

入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックしてください。

- ③プロジェクトを追加すると、下図のよう一覧に追加したフォルダが登録され、プロジェクト一覧に表示されます。次に[プロジェクト設定]ボタンをクリックしてください。

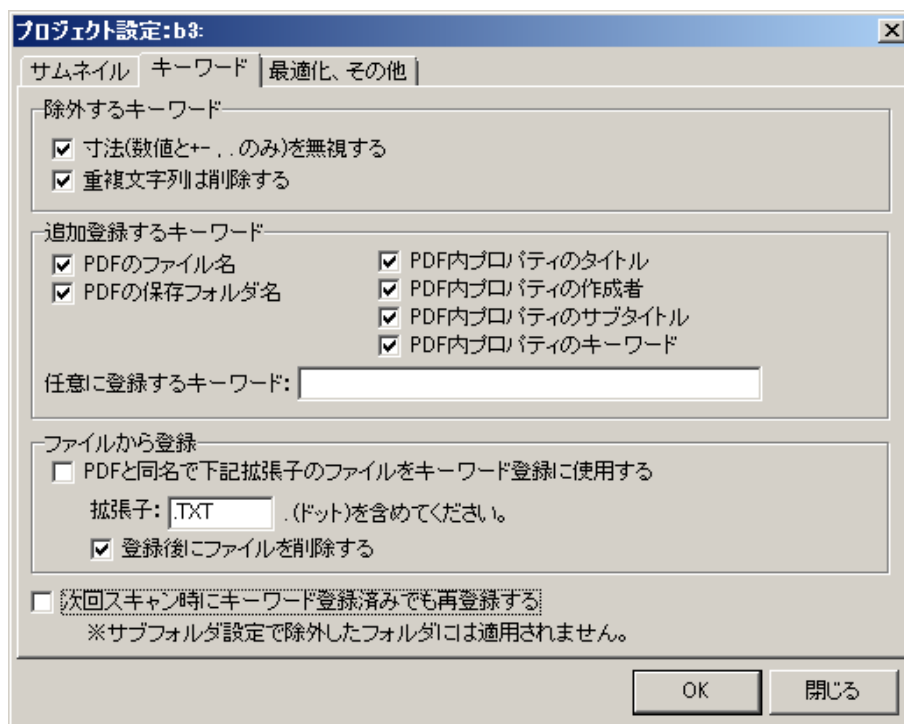


- ④プロジェクト設定画面が表示されたら、サムネイル設定を行います。サイズ指定方法与カラーは、自由に任意ですが、下記の例のように“幅と高のどちらかにフィット”の場合はサムネイルのサイズが設定した幅と高さ内に納まりますので、見栄えが良くなります。

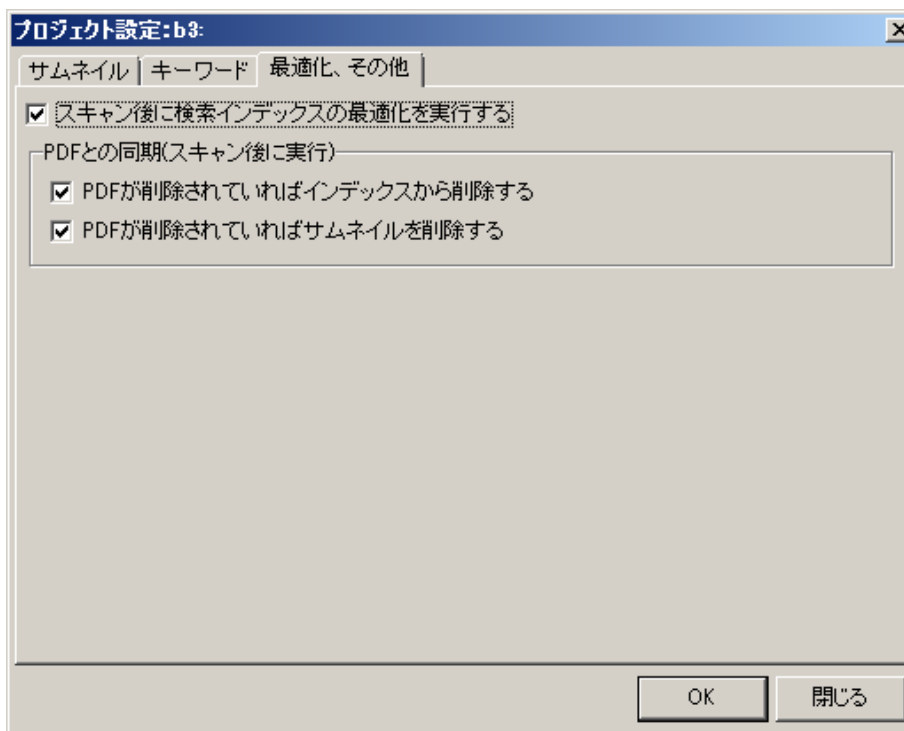




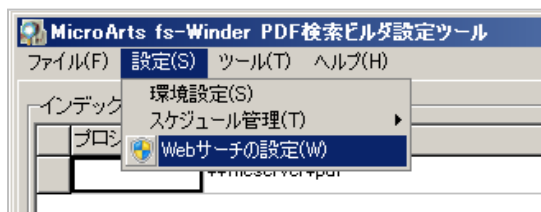
⑤次に、キーワードのタブをクリックして、キーワード設定を行います。下記を参考にして設定してください。



⑥最後に最適化と同期の設定を行います。下記設定の場合は、スキャン時に自動的に最適化と同期が行われますが、最適化と同期の処理は時間がかかりますので、登録ファイル数が多い場合(数万件以上)の場合はチェックをはずしてください。なお、最適化と同期は必ず手動で実行することも可能です。



⑦次に、Web 検索の設定を行います。検索ビルダ設定ツールの下記メニューから“Web 検索の設定”をクリックしてください。なお、Web 検索設定には管理者権限が必要ですので、権限昇格画面が表示される場合があります。



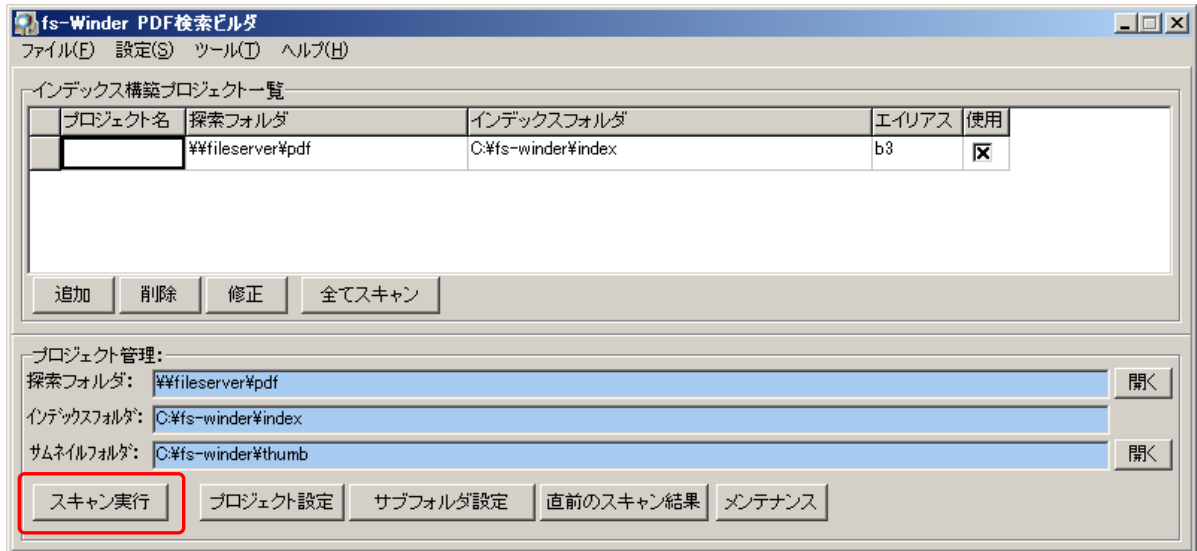
⑧Web 検索設定画面が表示されたら、Web 検索が使用するビルダ設定を選択してください。

## スキヤンの実行

### ● 最初のスキヤン

設定が完了しましたので、検索ビルダ設定ツール上からフォルダのスキヤンを行い、検索インデックスを作成します。

- ①PDF 検索ビルダ設定ツールを起動して[スキヤン実行]ボタンをクリックしてください。探索フォルダをスキヤンしてフォルダ内の PDF から全文検索システム用のインデックスとサムネイルを作成します。

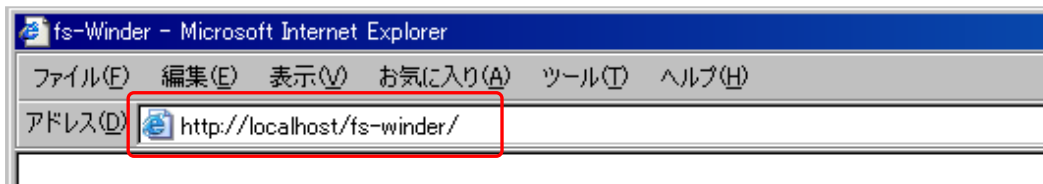


- ②スキヤンが完了したら、サムネイルフォルダにサムネイルが作成されているかを確認してください。

### ● Web サーチでの検索

Web サーチで検索を行う場合は、Web ブラウザを起動して下記の URL を入力してください。

[http://\[サーバのホスト名 又は IP アドレス\]/fs-Winder/](http://[サーバのホスト名 又は IP アドレス]/fs-Winder/)



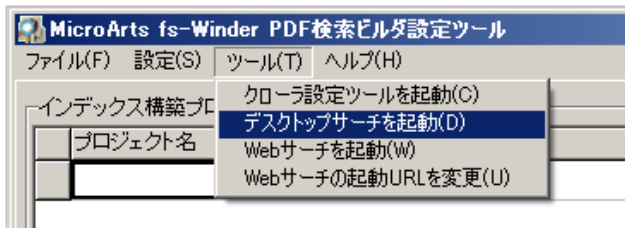
- Web サーチをインストールした PC 上で検索する場合は、上図のようにホスト名が localhost でも接続できますが、他の PC から接続する場合は、サーバのホスト名 又は IP アドレスが必要となります。

Web ブラウザに下記の画面が表示されますので、キーワードを入力して検索を行ってください。複数のキーワードを半角スペースで区切ることで、絞込み検索が可能です。

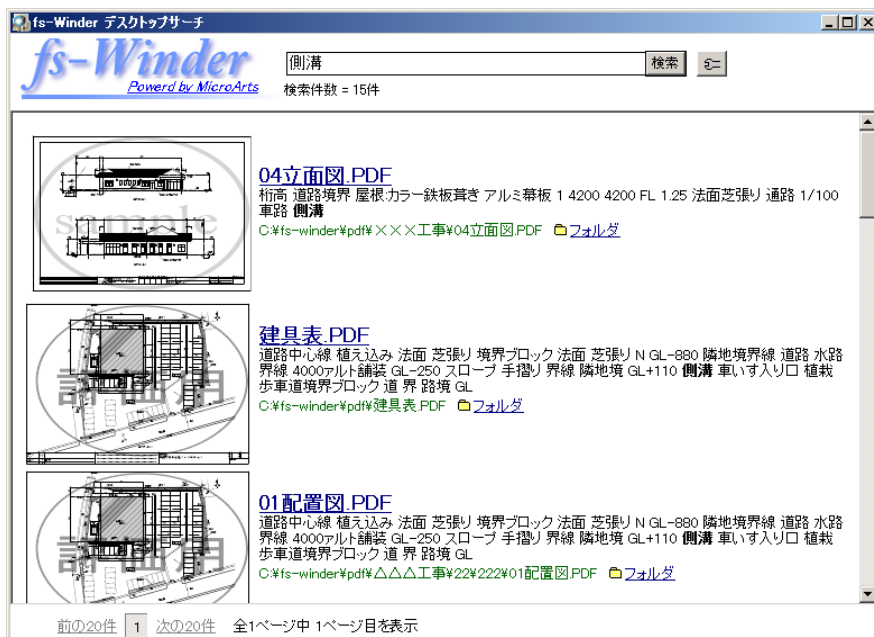


## ● デスクトップサーチでの検索

PDF 検索ビルダを実行した PC 上に検索インデックスを作成した場合は、デスクトップサーチを利用することができます。PDF 検索ビルダのメニューから下記のように“デスクトップサーチを起動”を選択してください。



デスクトップサーチはWebサーチと似た画面ですが、IIS などのサーバ設定が不要のデスクトップツールです。ネットワーク越しの検索は出来ませんが、*fs-Winder* のインストール時に一緒にインストールされていますので、簡単に利用することが出来ます。











[www.microarts.jp](http://www.microarts.jp)

*fs-Winder* スタートアップガイド

---

発行 第4版 2015年7月

株式会社 **マイクロアーツ**

〒965-0872 福島県会津若松市東栄町1-14